



人類が魔族と激しい戦いを繰り広げていた時代……  
魔王率いる魔導帝国と、神聖帝国を中心とした人類連合の戦争は、  
激化の一途をたどっていた。

異世界から導入した機械兵器の数々により、人類連合を圧倒する魔導帝国は、  
敵対する周辺諸国を次々に占領下に置き版図を広げていた。

各地で敗北を続け、戦線の後退を余儀なくされていた神聖帝国は、  
戦局の逆転を図るべく、聖女の『神託』によって『勇者』を選抜した。

『神託の勇者』を中心として、腕利きの冒険者と国軍の精鋭から選りすぐった  
『魔王討伐隊』が、魔導帝国の本拠地、魔界へ向けて出発するのだった……



## 神託の勇者 ルーク・バッシュケ

神聖帝国の片田舎出身。  
孤児であったが、  
地元の教会に引き取られて生活していた。  
幼少期から他の孤児仲間と  
冒険者パーティーを組み訓練に励み、  
近隣の魔物討伐等をこなす日々を  
送っていた。  
神聖帝国と魔導帝国との間で  
戦争が勃発した後、  
中央教会の聖女による「神託」によって  
「勇者」に選ばれ、  
魔王討伐隊の象徴的リーダーになる。

実力では熟練冒険者に及ばないため  
副官たちに頼ることも多いが、  
強い責任感とカリスマを持ち、  
旅の中で名実ともに討伐隊の中心へと  
成長していくことになる。



## 「白銀の騎士」

アルティナ・ベイフォード

神聖帝国・白翼騎士団の副団長にして、帝国の大貴族ベイフォード家の令嬢。三女  
白翼騎士団は神聖帝国が擁する12の騎士団の内、皇帝を守護する近衛騎士団、教会を守護する聖騎士団に次ぐ第三位であり、外征可能な戦力としては実質的な帝国最強騎士団である。

勇者の護衛と支援のため、白翼騎士団の精鋭と共に魔王討伐隊に参加した。

同時にベイフォード家からは「勇者を籠絡して子種を搾り取れ」との指示が出され、貴族としての義務感から勇者への接近を図っていた。当初はあくまでも義務感からルークに接していたが、旅の中でルークの人となりを知り、その優しさに触れて「貴族の義務感」以上の感情を抱き始めている。

一方ルークからは「頼れる騎士様」「カッコいいお姉さん」と思われており、彼女の貴族的(遠回し)なアプローチには気付いていない。



## 「黒炎の魔女」 クロウ

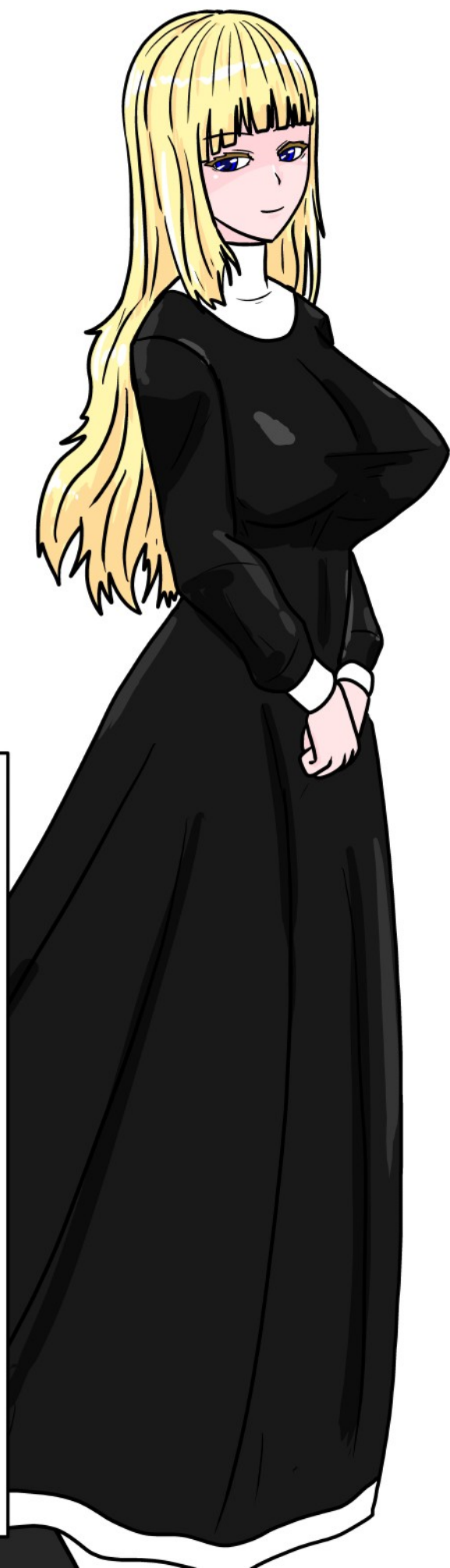
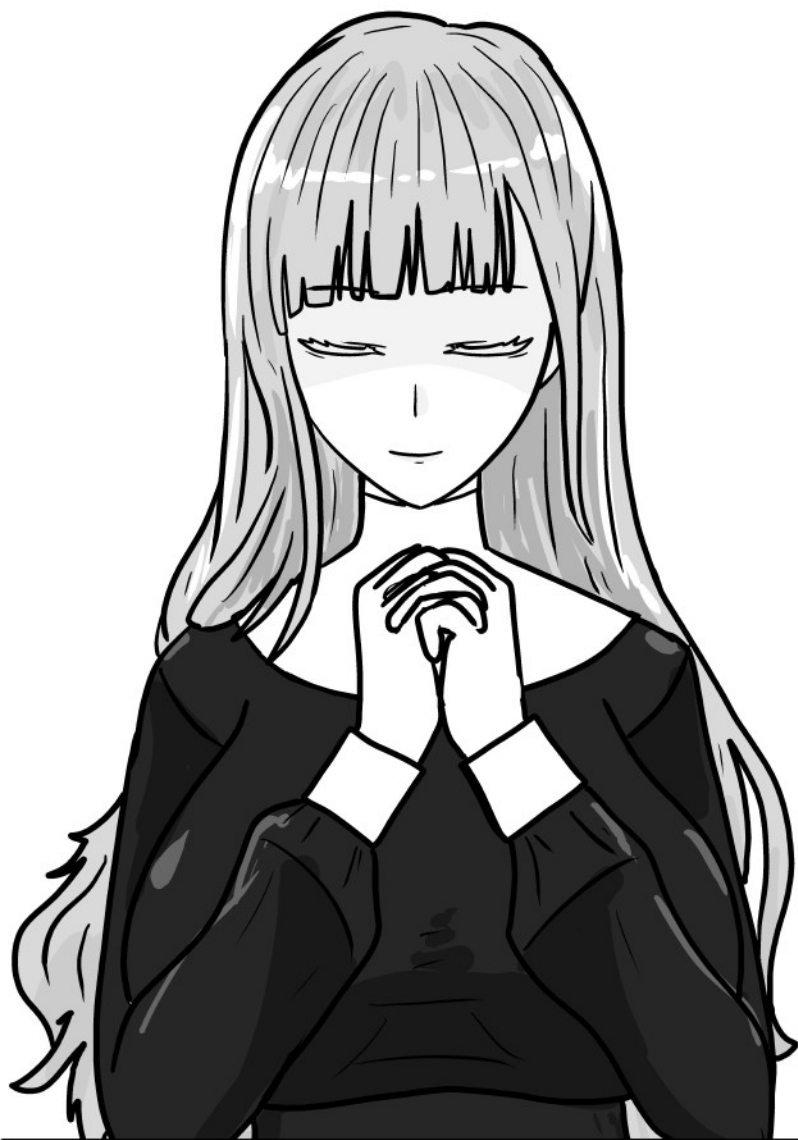
反魔族主義を掲げる魔導結社「星捧社」の魔女「全てを焼き尽くす黒い炎」と恐れられる攻撃魔法の使い手。

500年以上の時を生きているが、肉体はいまだに若さを保っている。

星捧社から魔王討伐隊に派遣され、魔術師部隊の指揮官を務める。

性に奔放な性格であり、星捧社からは「勇者に手を出さないように」ときつく言い含められていたが、それを完全に無視してルークを性的にからかって遊んでいる。

ルークからはすごくきれいでエッチな大人の女性とされており、からかわれているとは分かっているけどドキドキが抑えられず意識してしまう相手。



## 「慈愛の聖女」 アメリア・バッシュケ

神聖帝国の片田舎で教会のシスターを務める聖職者。もともとは中央教会に所属しながら、冒険者として魔物討伐も行っていたが、孤児だったルークを引き取り、その際に冒険者を引退した。

ルークを含む孤児たちの「母親」として、また、ルークが冒険者として活動を開始してからは冒険者の先達として、愛情をもって世話と教育を行っていた。

ルークが「神託」によって勇者に選抜されるとルークの旅を支えるために冒険者に復帰、自ら魔王討伐隊に志願した。

ルークにとっては愛すべき家族・母親であるとともに、秘めた初恋の相手でもある。



## 冒険者(ハンター) ミナ・ルーコン

ルークと冒険者のパーティーを組んでいた狩人の少女

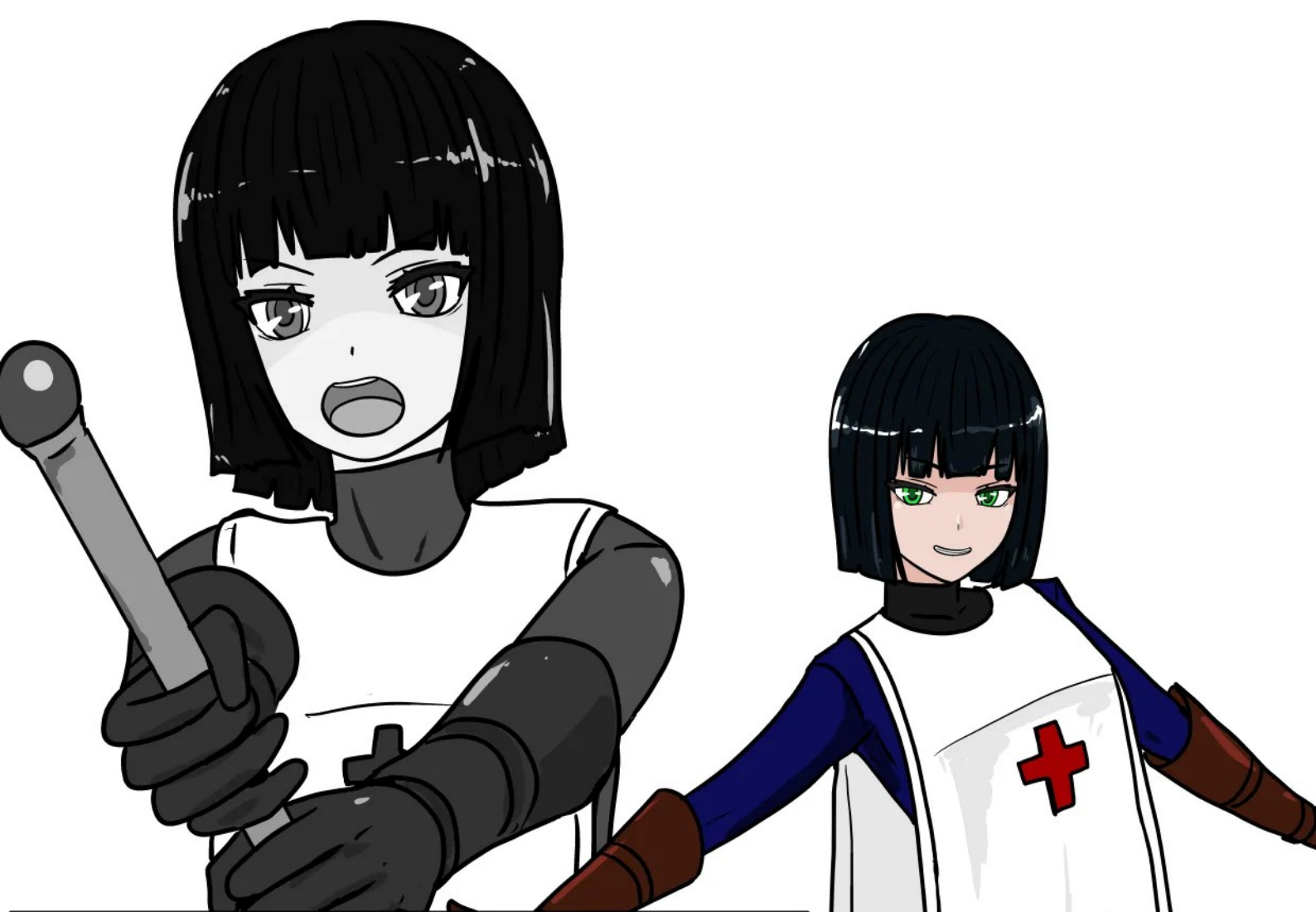
ルークの幼馴染であり親友、  
冒険者稼業における相棒でもある。

狩人としての腕前は、同世代の中では抜きんでて高い。  
熟練冒険者と比較するとまだまだ劣る部分も多いが、  
魔王討伐隊が結成された際には、勇者の相棒であった  
ことを評価されて加入が認められた。

ルークは最初、彼女のことを男と勘違いしており、  
ミナ自身もその勘違いに気付いていながらあえて  
指摘していなかった。

しかし、魔王討伐隊に参加する際の小隊編成において  
女冒険者の小隊に振り分けられたことから  
女であることがバレた。

それ以降はお互いに何かと意識し合うようになっている



## ヒーラー見習い レイ・バッシュケ

ルーク同様、アメリアに引き取られた孤児の少女  
アメリアに引き取られて以降、ルークを「兄さま」と慕い  
冒険者となったルークの後追って、  
自らも冒険者になるべく修行中。  
腕利きの冒険者であったアメリアから教育を受けたため  
同世代に比べて頭一つ抜けた能力を示す。

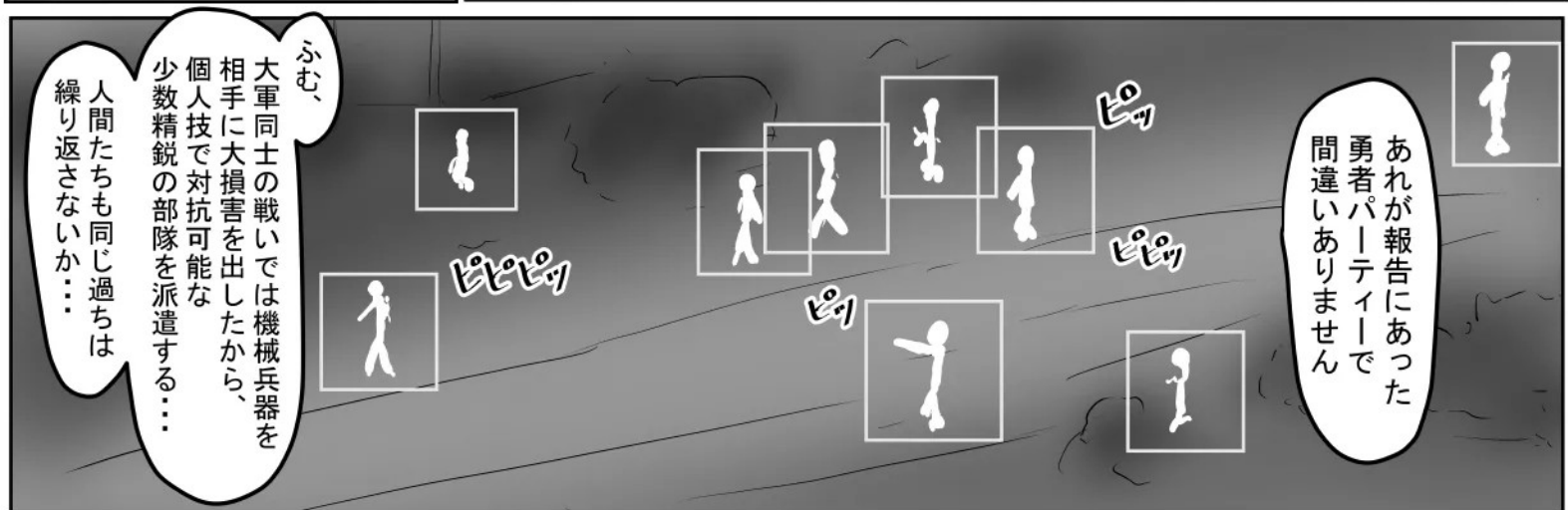
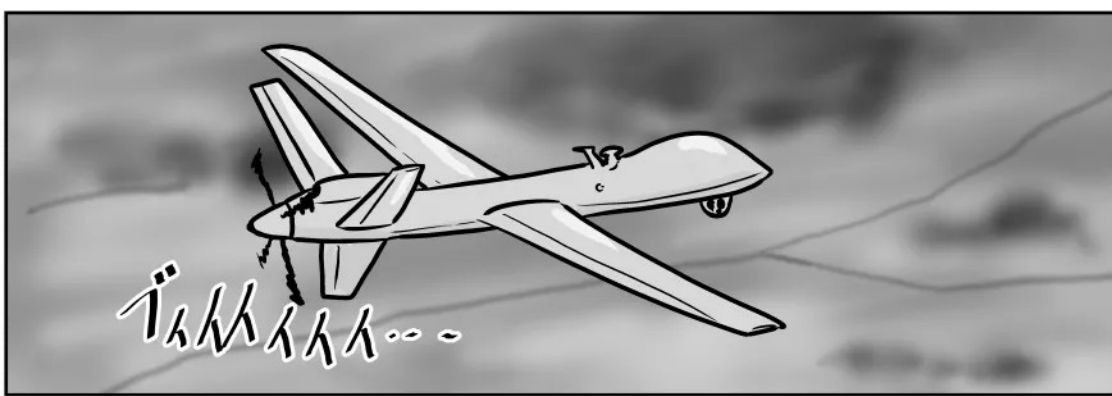
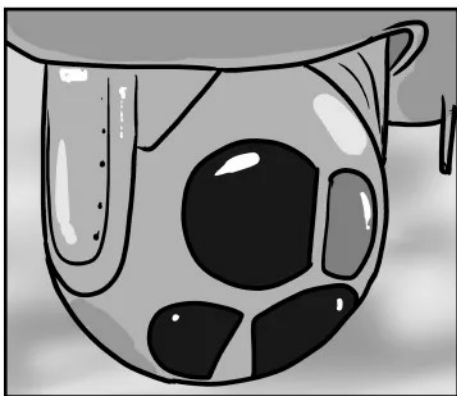
まだまだ半端な未熟者であり、  
当初は冒険者ギルドへの加入と魔王討伐隊への参加は  
許可されなかった。

しかし、保護者であるアメリアが勇者に同行すること、  
勇者の近親者が誘拐されて人質として利用される  
恐れがあることを考慮した結果、討伐帯に同行する方が  
安全であると判断され、  
見習いとして参加することになった。

兄の傍に女性が近づくと  
露骨に不機嫌になるブラコンであるが、  
当のルークからは「世話を焼くべき妹」と認識されており  
女性としては見られていない。  
ルークの初恋の相手が「母」であることに気付いており、  
アメリアに対しては尊敬・愛情・感謝と  
嫉妬・対抗心が複雑に絡んだ感情を抱いている。

## 魔王討伐隊編成





あれが報告にあった勇者パーティーの間違いありません

ふむ、大軍同士の戦いでは機械兵器を相手に大損害を出したから、個人技で対抗可能な少数精鋭の部隊を派遣する... 人間たちと同じ過ちは繰り返さないか...



主力として魔術師や魔法騎士、サポートに練度の高い冒険者が付いているとなると、戦闘ヘリによる攻撃では相当な損害が予想されます。

併合地域の駐留軍には戦闘を徹底的に避けるよう通達を出せ。

本国まで素通りさせるのですか？



相手は高火力編成の部隊だ。正面切つての戦闘ではこちらの部隊にも、戦闘地域の土地にも大きな被害が出る。

旧国境の無人地帯を利用して遠距離火力戦を仕掛ける。敵の魔法攻撃の射程外から一方的に攻撃し、魔法防御ごと押し潰す。



了解。予想進路上に利用可能な砲兵戦力を集中します。

1ヶ月後……

なんだかんだ、  
あっさり魔界(※)の  
境まで来ちゃいましたね……

※「魔界」

魔導帝国の人類側の呼称

ここまでは魔族たちの占領地域、  
つまりもともと我ら人間の土地だ。

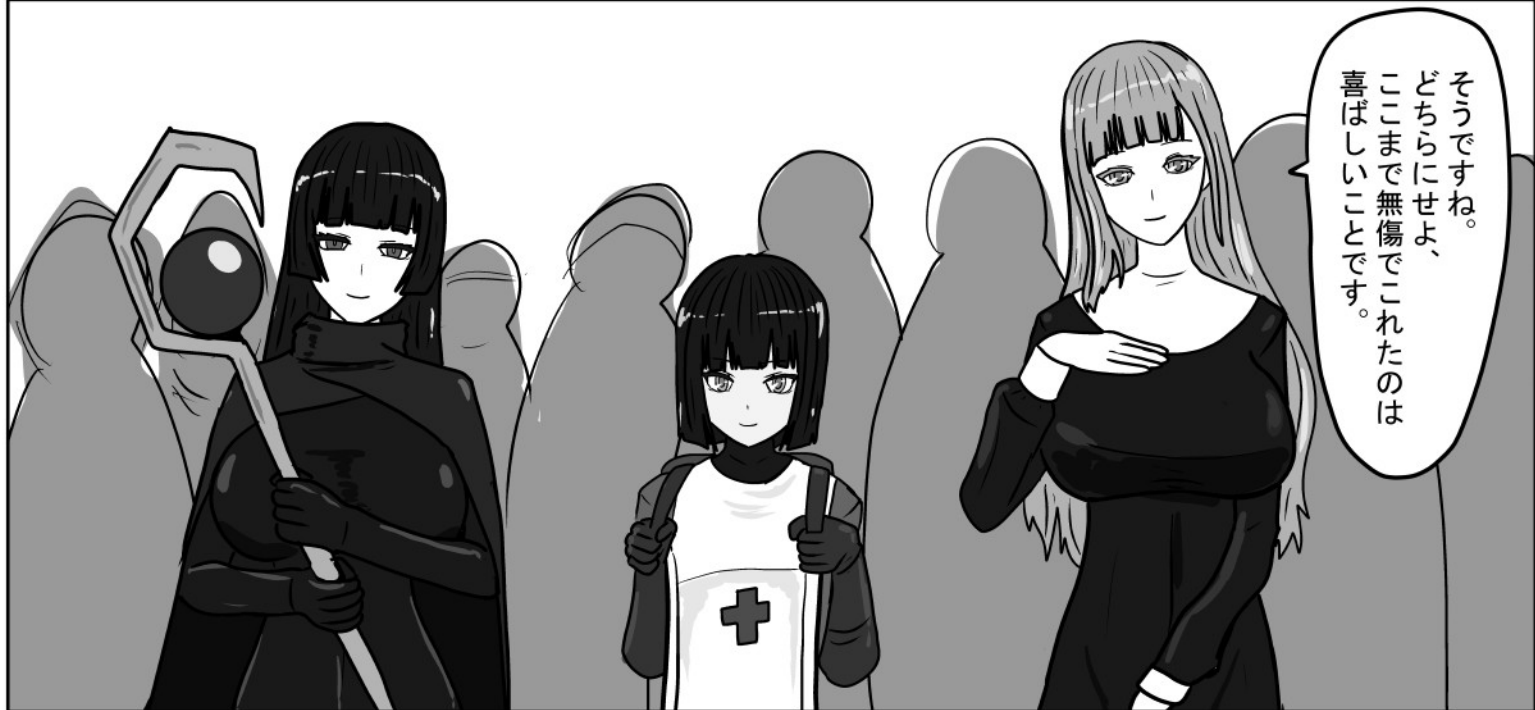
町や村落の住民たちが  
我々に協力的だったのも  
当然のことだ。

誘いこまれてる……  
という可能性も  
あるけど……

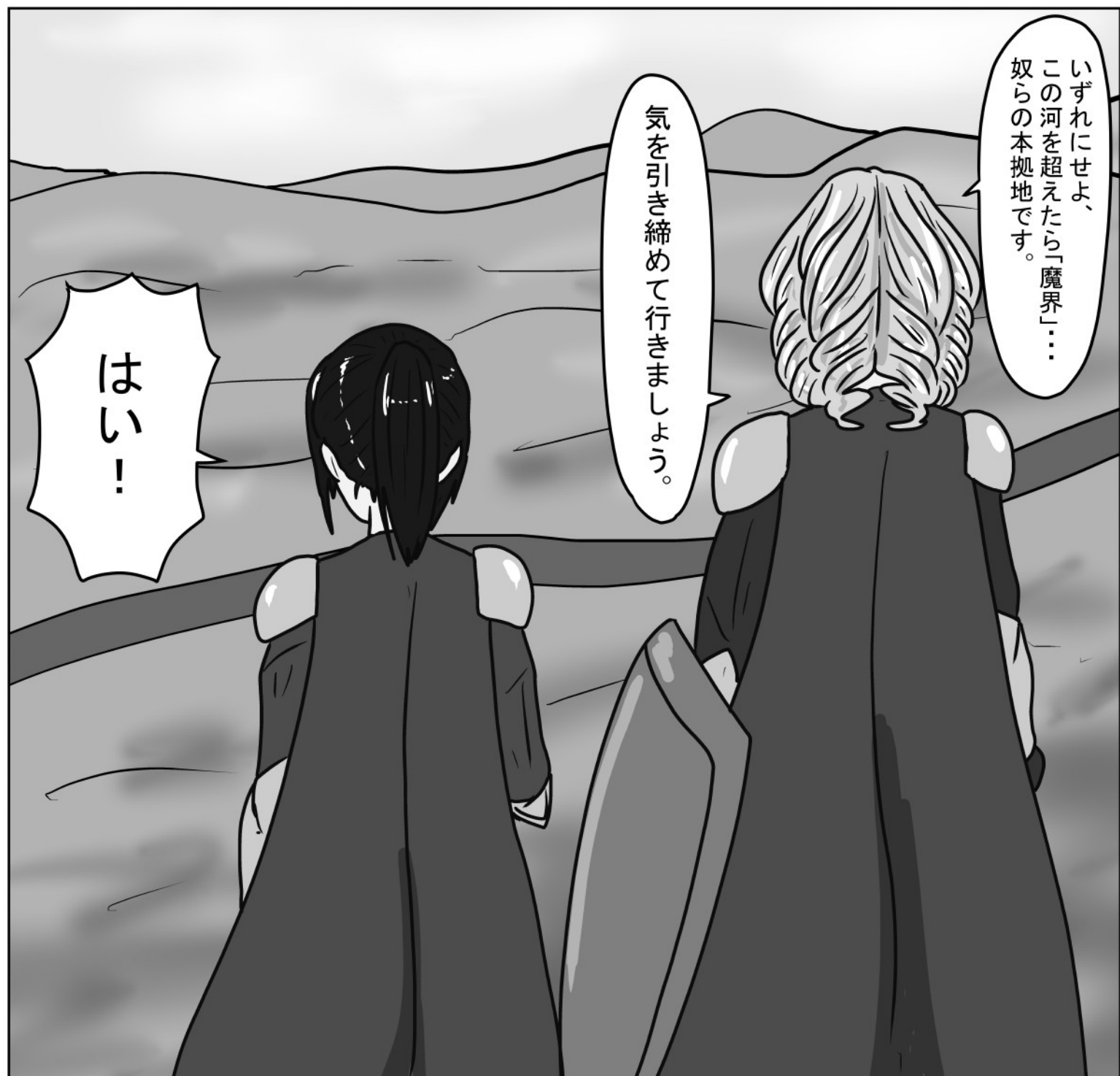
その可能性は  
否定できないが……

あらゆる障害を排除して、  
魔王を討ち取るのが  
僕らの目的だ。

どんな罠が待ち受けていようと、  
それらを全て打ち破って進むだけだ！



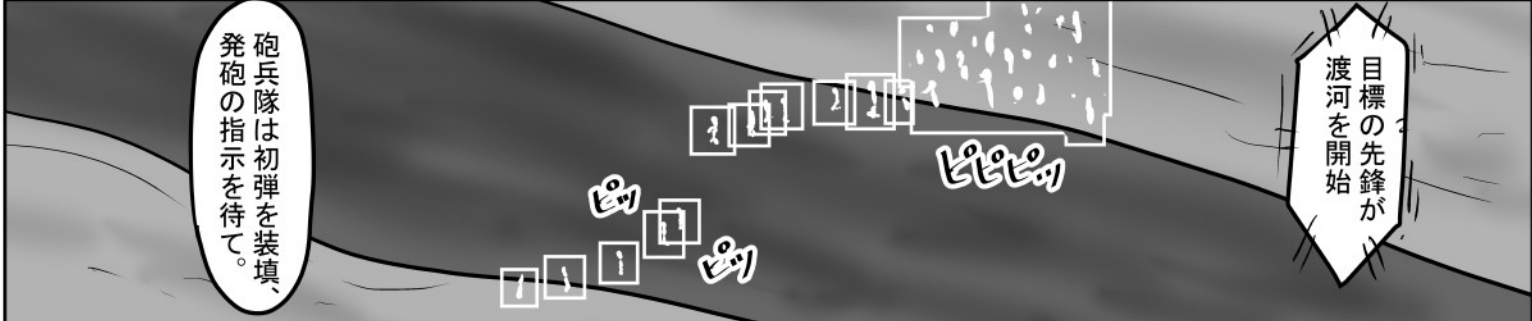
そうですね。  
どちらにせよ、  
ここまで無傷でこれたのは  
喜ばしいことです。



いずれにせよ、  
この河を超えたら「魔界」…  
奴らの本拠地です。

気を引き締めて行きましょう。

はい…



目標の先鋒が  
渡河を開始

砲兵隊は初弾を装填、  
発砲の指示を待て。



とはいえ、  
人間の魔術師たちも  
強いですよ。

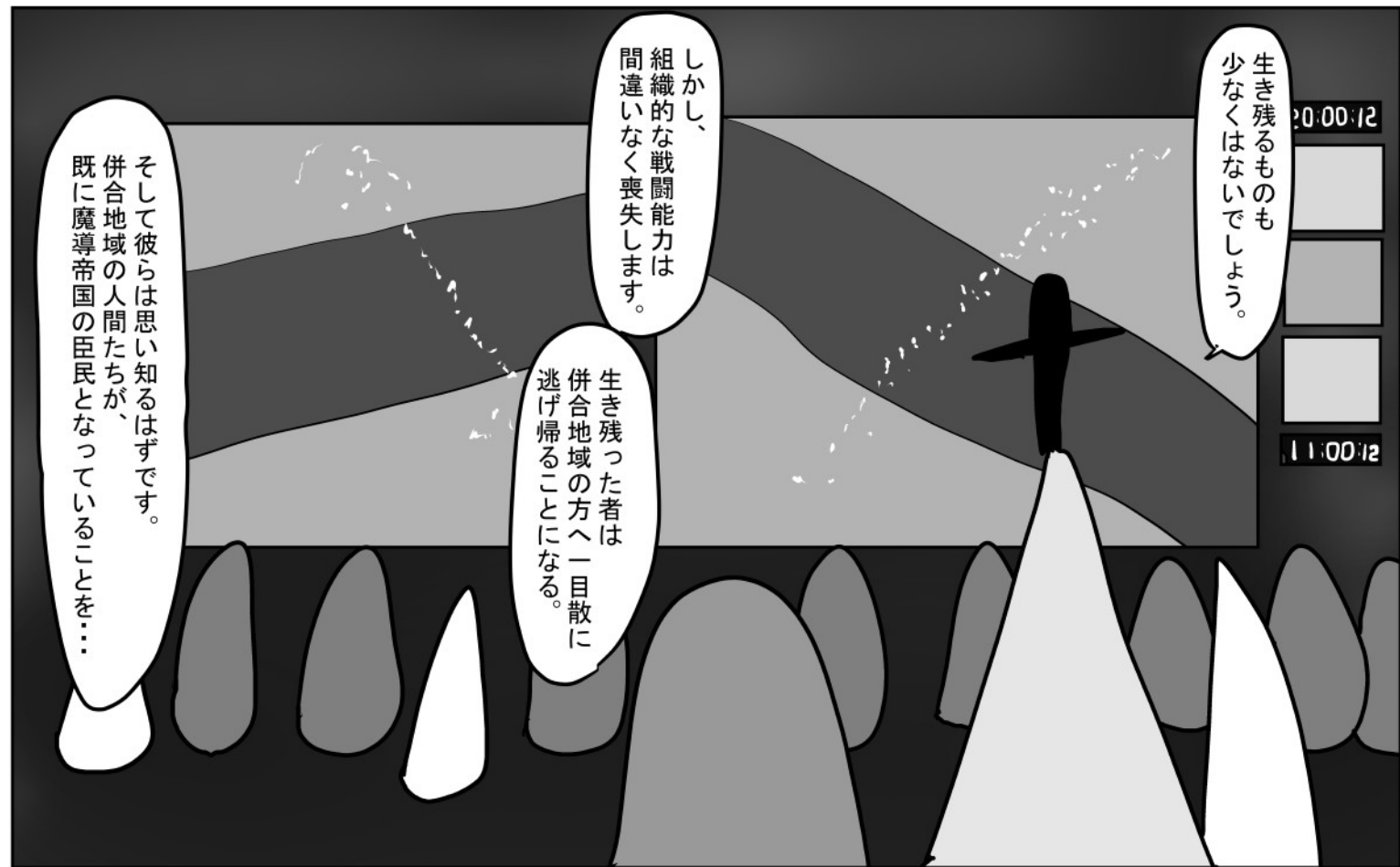
6千発で殺りきれますかね？



渡河によって  
敵部隊がひとかたまりになる  
瞬間を狙って、  
6千発の砲弾の嵐…

やり方がえげつないですね。

英雄たちが剣先を並べて  
突撃する時代は  
終わったんですよ。



生き残るものも  
少くはないでしょう。

しかし、  
組織的な戦闘能力は  
間違いなく喪失します。

生き残った者は  
併合地域の方へ一目散に  
逃げ帰ることになる。

そして彼らは思い知るはずで  
併合地域の人間たちが、  
既に魔導帝国の臣民となっ  
ていることを…

0:00:12

1:00:12



よろしい



目標の半数が渡河を  
完了！

砲擊開始



さらに2週間後……

皆さんご注目！

神聖帝国の悪辣な指導者たちにより「勇者」に祭り上げられた、哀れな少年兵であります！

少年は神聖帝国軍と共に我ら魔導帝国の領土に侵入！

しかし我が精鋭の砲兵部隊による正確無比の射撃によって神聖帝国軍は崩壊霧散！

少年は手足を失い、無様な肉達磨と成り果てました！

我が帝国に攻め込んだ非正規軍の首魁でありますから、本来なら裁判なしの即時死刑もあり得たわけですが、

慈悲深い魔王陛下の計らいにより帝国臣民の慰み者として生きる道が与えられました！


どうです！  
神聖帝国が「神託の勇者」と祭り上げるだけあって、

容姿は非常に整った美少年です！

ぐい

ザワ  
ザワ  
ザワ

ぐっ



手足を失っただけでなく、  
内務省研究局による  
徹底した弱体化処理が施されているため、  
もはや赤子にすら抵抗できません！

この無力な美少年を  
好き放題に扱う権利！  
最低落札価格は20万ゴールドから！



恥ずかしながら、  
敵の攻撃で気を失ってしまい、  
仲間たちの状況もわからないのです。

もし、私のように魔族に  
捕まっていたのだとしたら、  
何とか助け出す方法を  
考えないといけません。

討伐隊の消息ですか？  
勇者殿にとっては  
残念な知らせになりますが、  
全滅です。

軍事的な、戦闘力を失った、  
という意味ではなく、  
文字通りの全滅です。

勇者殿と同じように  
生き残れたものも  
ごく僅かで…

全員が軍によって  
拘束されました。

たしか…  
「白銀の騎士」、  
「黒炎の魔女」、  
「慈愛の聖女」…  
それと冒険者の  
少女が2人

彼女たちは生きて…

捕まっているのか…

おお、そうだ！  
彼女たちが気になるなら、  
勇者殿と一緒に、  
どういう目にあっているか、  
見学に行くのも楽しそうですね。

けん…がく？

それに楽しそうとはいいたい…

そう、見学です。  
魔物たちに蹴られて  
泣き叫ぶ女たちの様子は、  
きっと楽しいですよ！

何を、何を言っているんですか！

生きているのなら助け出さないと！

奴隷として売られたということですか？今の僕のように買い取っていただくことは出来ないのですか？

お金なら、後から神聖帝国が何倍にも返してくれます。何とか必要な額を用意しないと！

…ああ。

何か話が噛み合わないと思いましたが…

勇者殿は勘違いをしておられる。

神聖帝国のプロパガンダに染まり切っていると信じられないかもしれませんが…

この国に魔族や魔王様に敵意や不満を持っている人間はほとんどいませんよ。

もちろん  
私自身も…ね。

な…

え…  
それじゃあ…

ええ、私は神聖帝国の味方ではありません

あなたも、捕まっている女たちも、この先解放されることはありませんよ。



ああ、  
でも安心してください。

簡単に殺したりなんか  
しませんからね。



知恵あるモノの  
奴隷化が『原則』禁止となった  
この国で、

人間の性奴隷を  
合法的に入手する機会は  
めったにありませんからね。

勇者殿のことは、  
丁寧に丁寧にいたぶって、  
一生私のおもちゃとして  
遊んで差し上げますからね。

幼少期にスラム街で暮らしていた孤児が、この手の『お仕事』を知らないとは言わせませんよ

ははは、勇者殿の生い立ちはすべて調査済みですぞ。

やめろ……!!  
なにをす……!!

ぐわっ

ざわっ

いっばいほじってあげますからね

大丈夫、勇者殿も気持ちよくなれるよう、

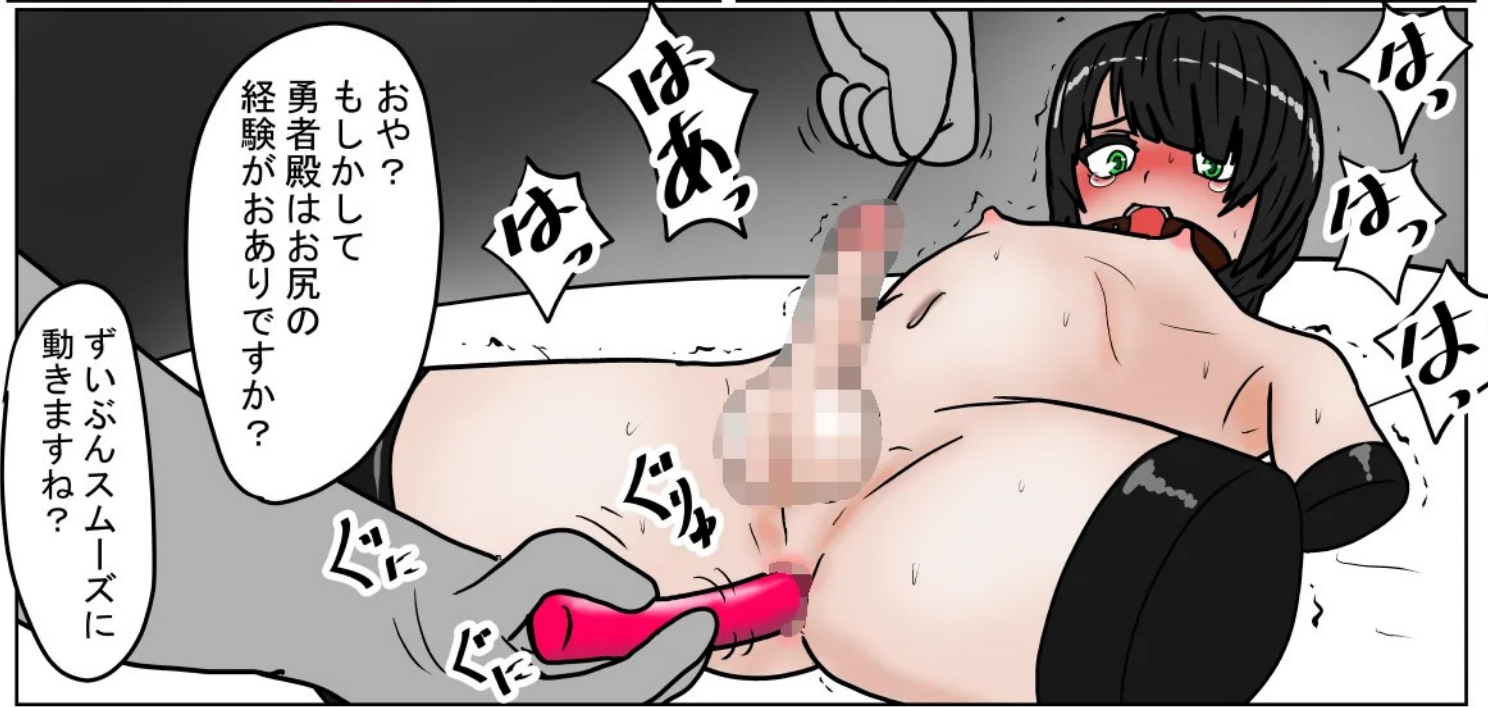
ぐわっ

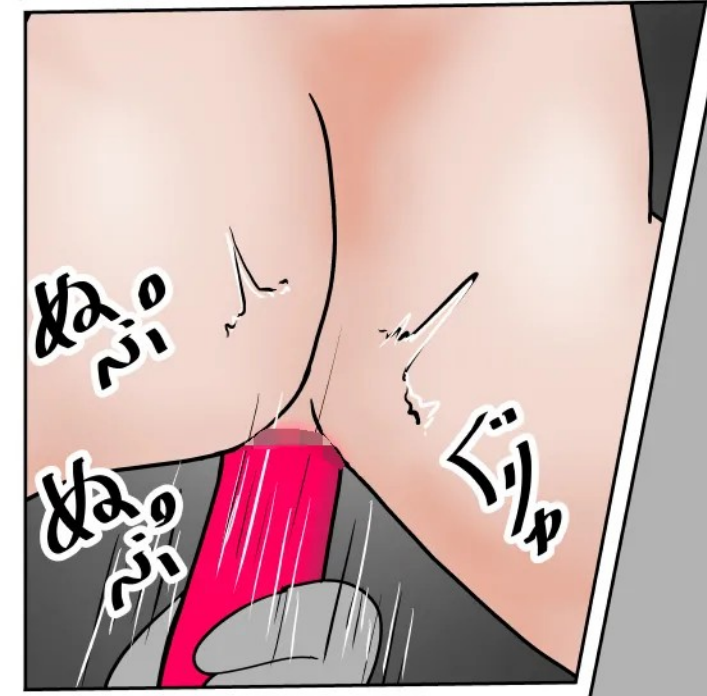
ツパツパ

あゝあゝ!!

んあゝ!!

んあゝ!!

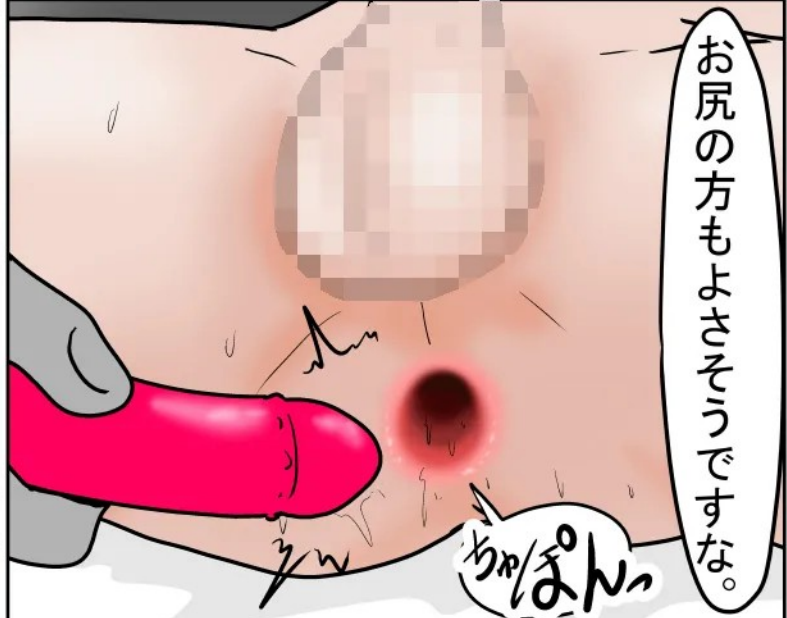








お尻をもうひと手間、準備する間に、私のモノの準備は勇者殿のお口にお願いしましょうか。



お尻の方もよさそうですな。

んあ!!



ははは、勇者殿の喉は狭いですなあ！  
油断しているとメインを頂く前に果ててしまいそうですぞ！



んあ!!

んあ!!



んあ!!

んあ!!



先ほどのおもちの  
倍の太さですが...

は...

な...

は...

待って...

やめ...

ははは

勇者殿なら  
一緒に楽しめるでしょう。

おおおおお!!

びん

あ

ず

ふふふ、こんなに震えて、  
そんなに気持ちよいですか？

あ

んんん!!

あ

ずず

あ  
ははは  
んんん



わかりますか？

私のモノが  
勇者殿の中を  
激しく動いていますよ！

そんなに体を固くしないで、  
もっと快樂に身を預ければいいのです



乳首も、

おちんちんも、

ほら！

気持ちよいでしょう？



多少暴れたところで  
無駄ですぞ♡

かあああ  
はっはっ

はっはっ



おっと...

あ

ドサッ

ぬほっ



その体では、  
1人でこのベットから  
降りることも  
できないんですからな！

あー

あ

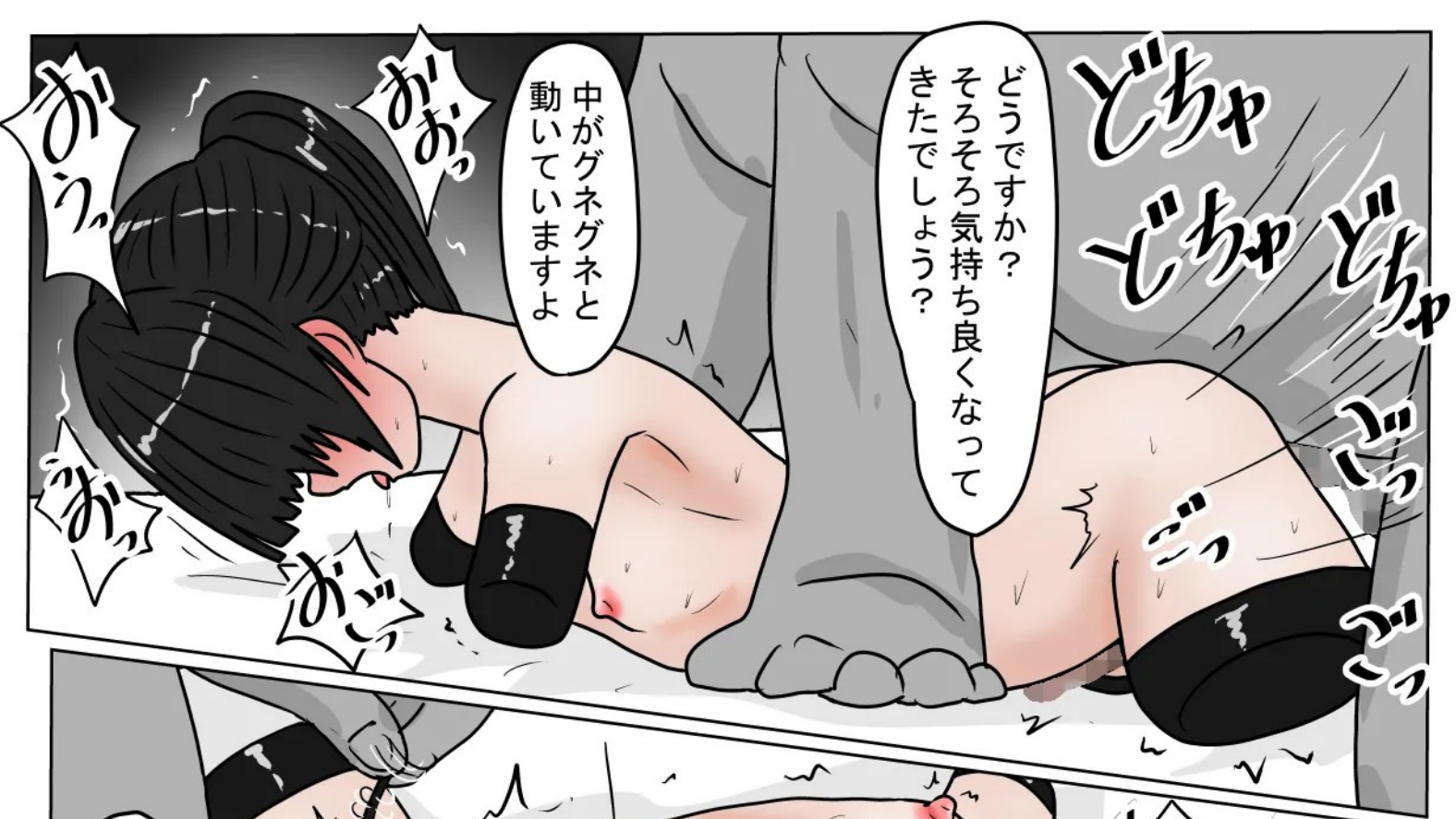
あー

くわ

くわ

くわ

くわ



どうですか？  
そろそろ気持ち良くなって  
きたでしょう？

中がグネグネと  
動いていますよ

かお

かお

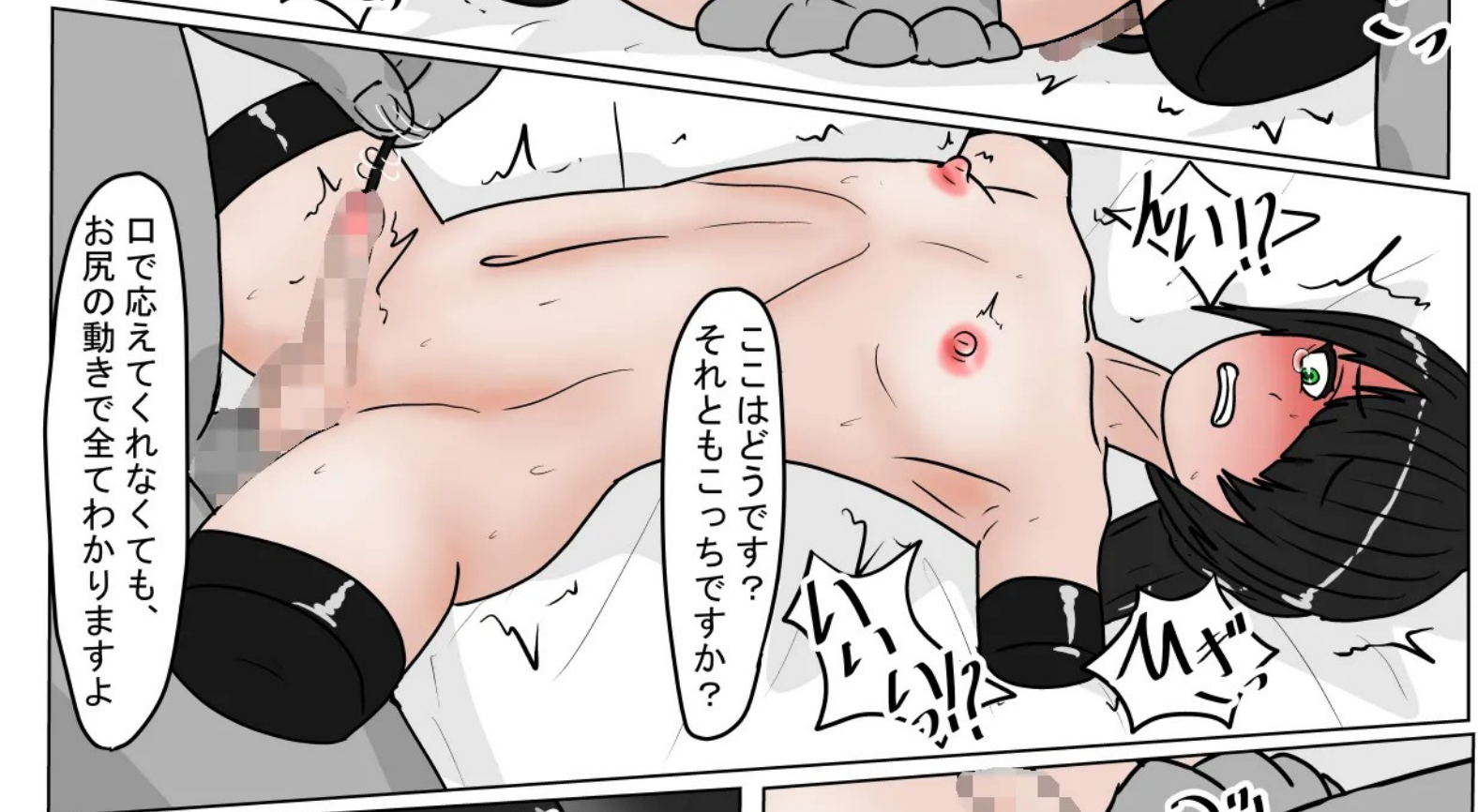
かお

かお

ど

ど

ど



んい!?

こっちはどつですか？  
それともこっちですか？

いい!?

んい!?

口で応えてくれなくても、  
お尻の動きで全てわかりますよ



かお

かお

かお



それとも...

こういう方が  
お好みですか？







1週間後……

勇者殿はいい子ですね。

ご褒美にパーティーの生き残りに  
会わせてあげましょう。



彼女たちは……  
ちゃんと生きていますか？

は、

は、

は、

ふは、

もちろん！  
以前もお話したでしょう？

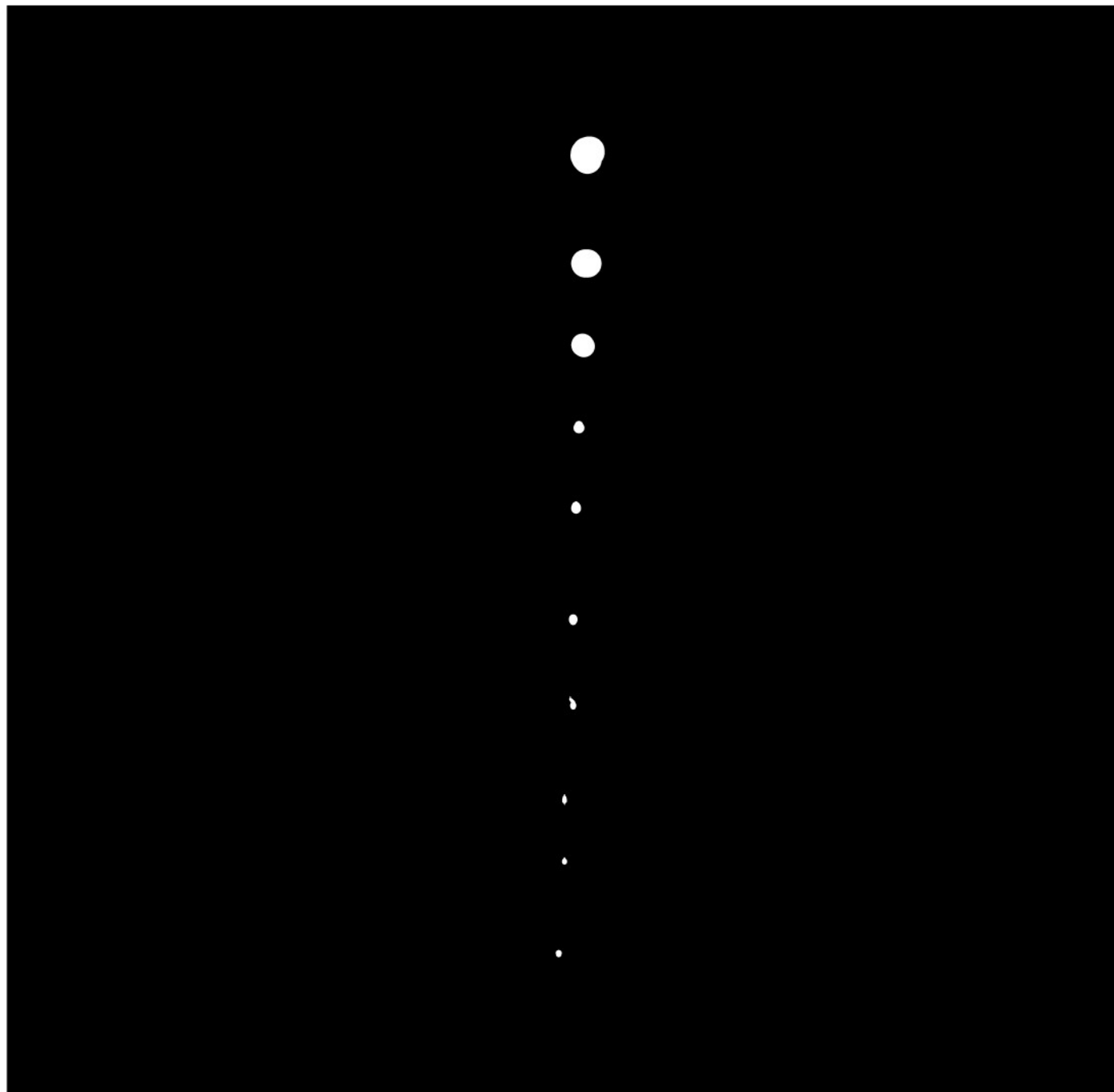
この国では人間の奴隷は  
めったに手に入りませんから、  
簡単に壊すような真似はしませんよ。

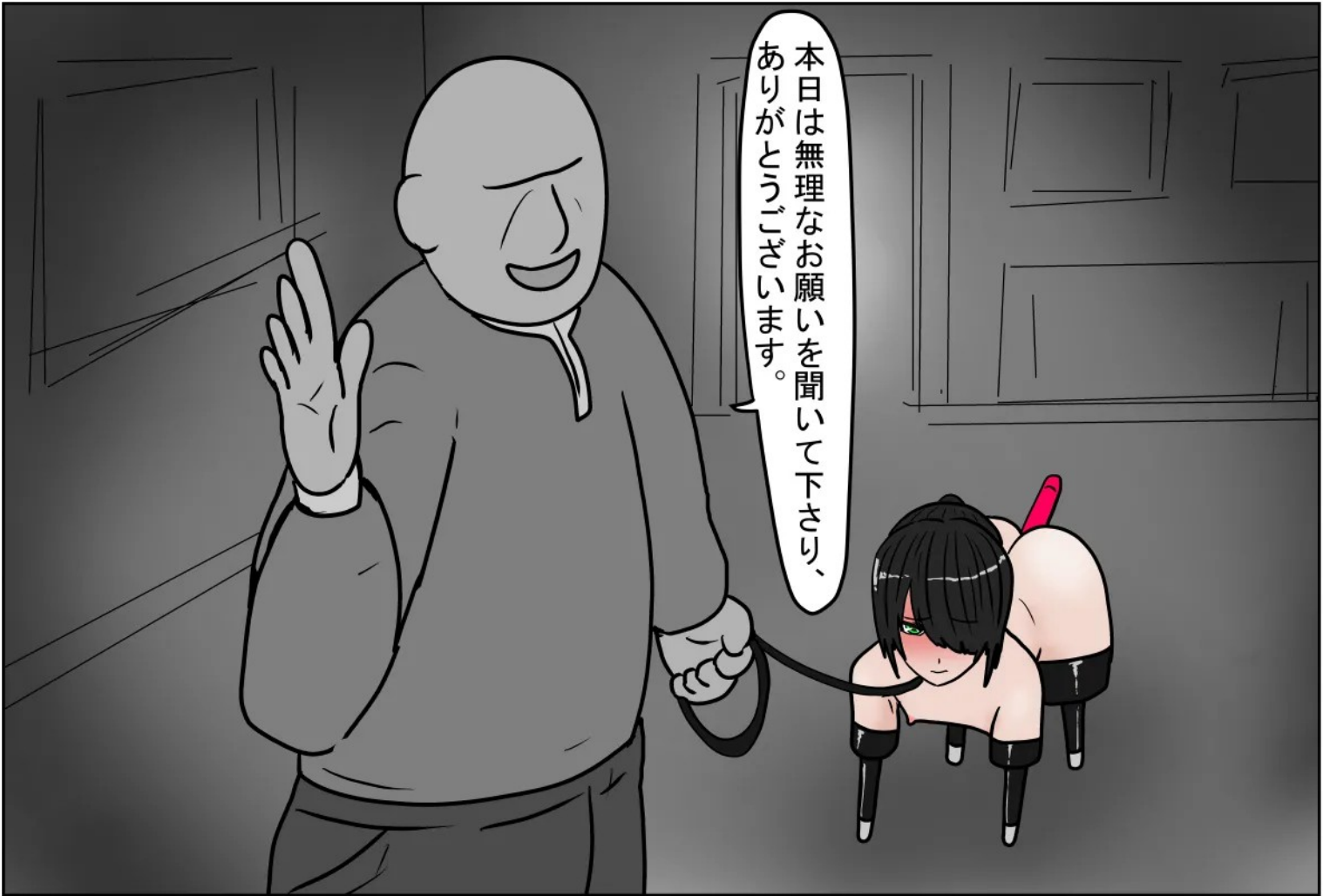
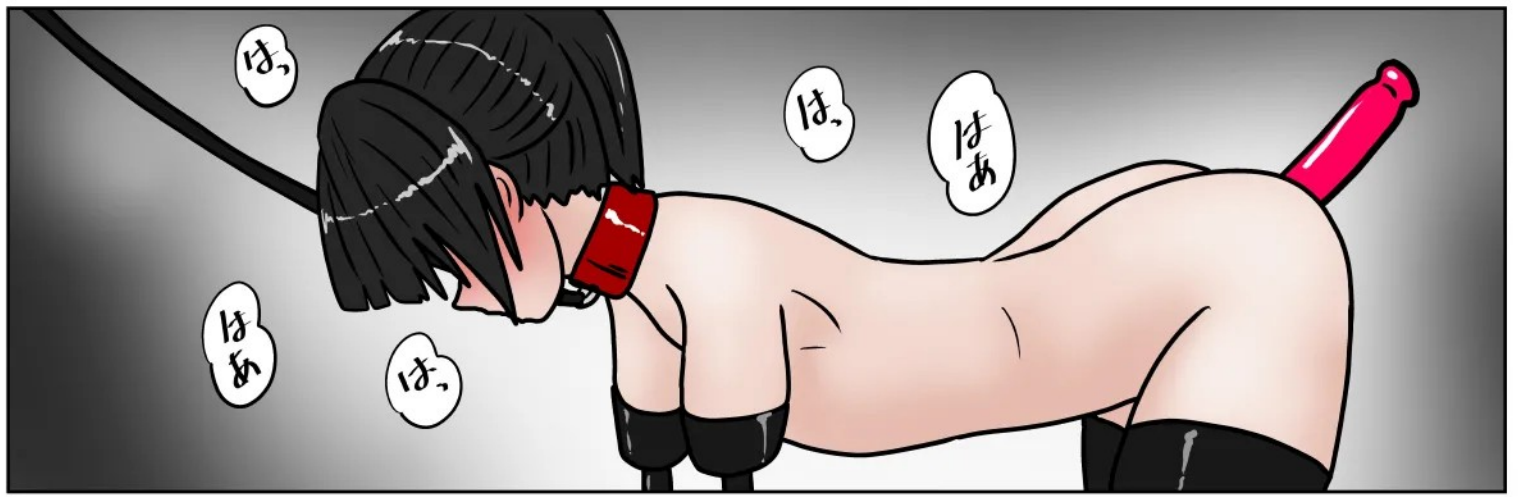




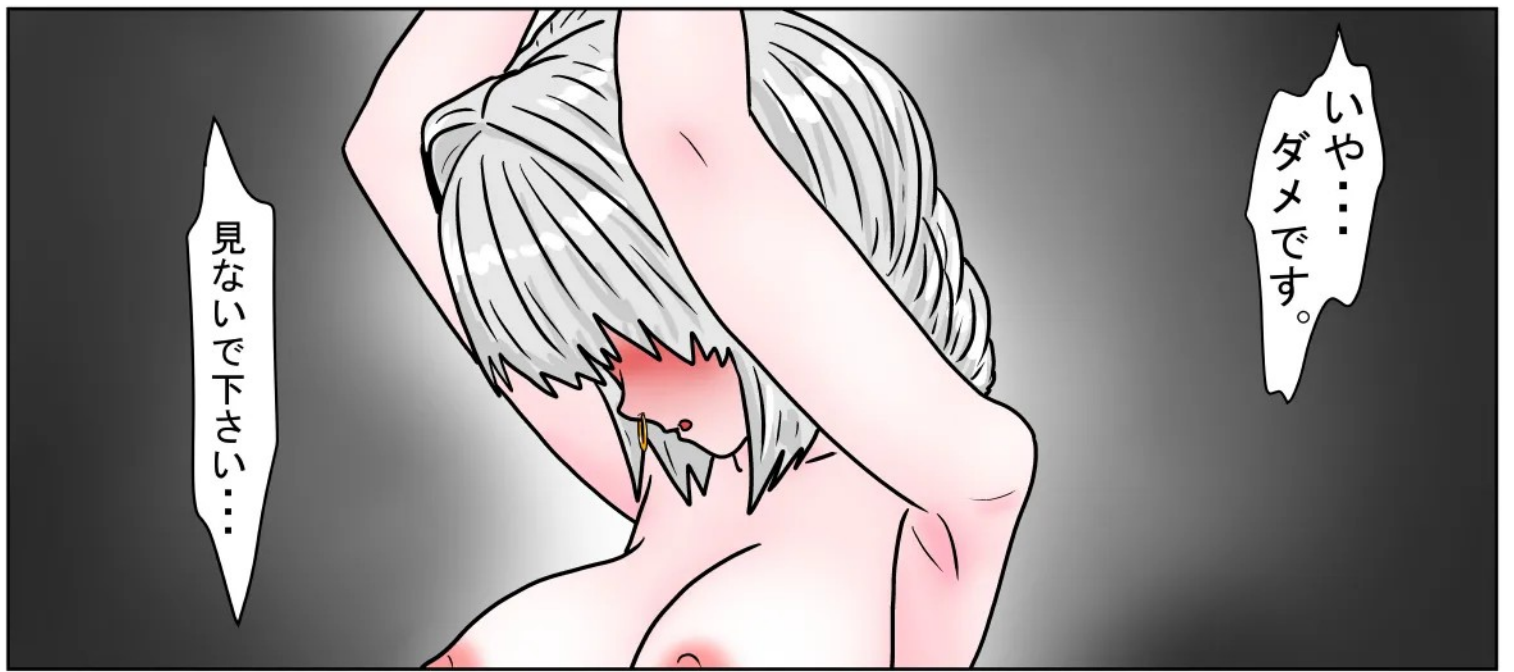
そうですね、  
まずは白銀の騎士なんてどうですか？

あれを購入したのは  
私のお友達ですので、  
すぐに会わせてもらえると  
思いますよ。









いや……  
ダメです。

見ないで下さい……




ふほほほほほ、  
せっかくの再開なのに  
顔を背けてはもったいなからう。


勇者殿は気付いて  
おられたかな？

この女騎士、  
勇者殿に恋慕の情を  
抱いておったのですよ。

んんん

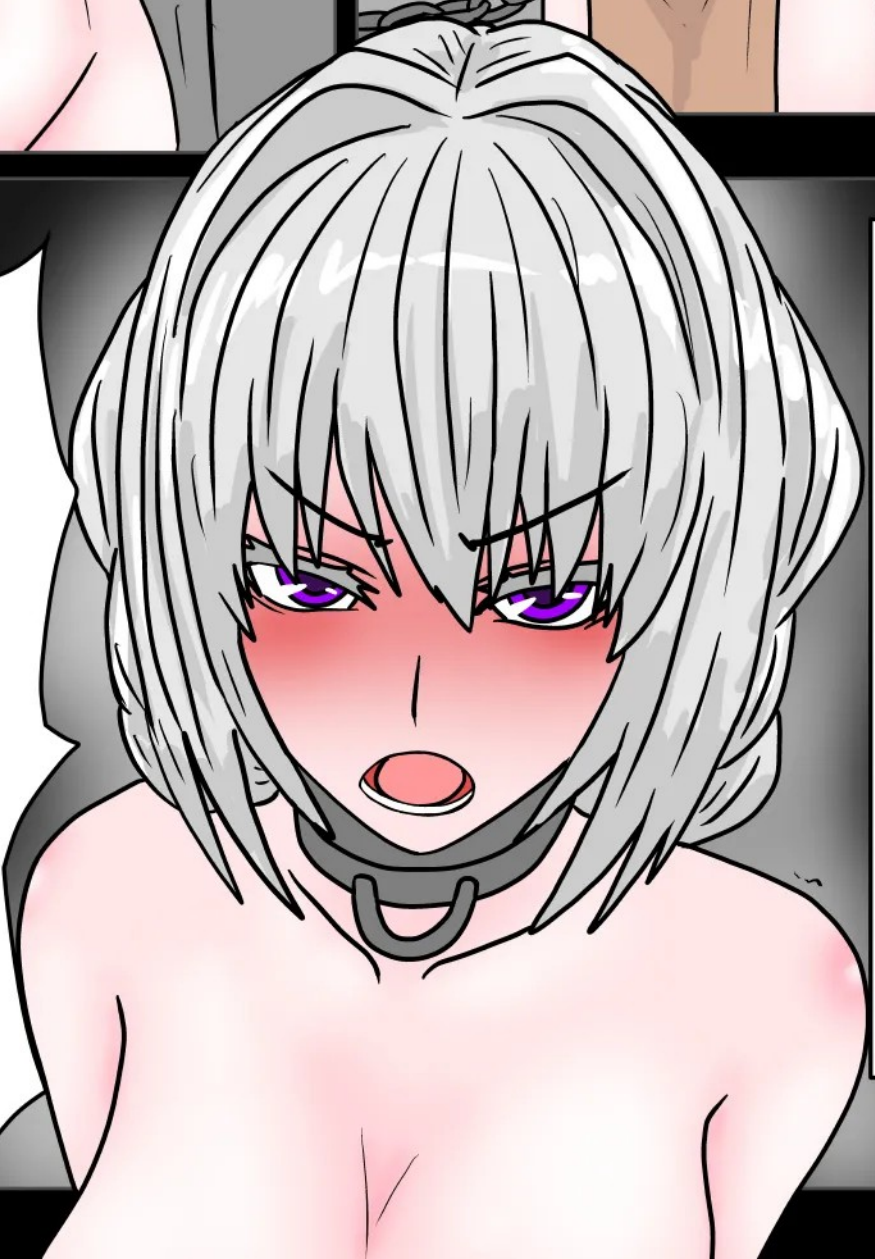


この屋敷に来たときは  
まだ処女だったのですよ。



貴族の娘にふさわしい貞淑さです。  
敗北し、装備も衣服も剥ぎ取られてなお、  
闘志と誇りを失わず、  
毅然とこちらを睨みつける様子は、

まことに美しいものでした。



処女を奪い、わしの子を産ませる。  
そう告げた時の悔しそうな顔も絶品でした。  
勇者殿にも見せて差し上げたいくらいです。

どれだけ体を汚されようと、  
心までは決して屈さない！



処女膜を破ったときは  
最高でしたぞ……

勇者殿の名を呼びながら、  
ポロポロと涙を流して……  
大国の騎士様が  
まるで子供の様に  
泣きじゃくっておりましたな。

ルーク様……  
ルーク様……

は、

は、

助けて……

ルーク様……!!

は、あ、

騎士様が助けを求めて  
泣いていたころ、

勇者殿は尻穴をトロトロにして  
よがっていたということですか  
ケッアナ

おや？

勇者殿は  
こんな騎士様を見て  
興奮してしまっただのですか？

おちんちんが  
そそり立っておりますぞ？

ふん



どれだけ勃起させても、  
アルティナの膣内なかに挿入いれることは  
かなわんというに...



ふほほほほ、  
かわいいそうに。



わしとアルティナの  
ラブラブなまぐわいを見ながら  
自分のモノをしごくといひ。

せめてもの情けじゃ

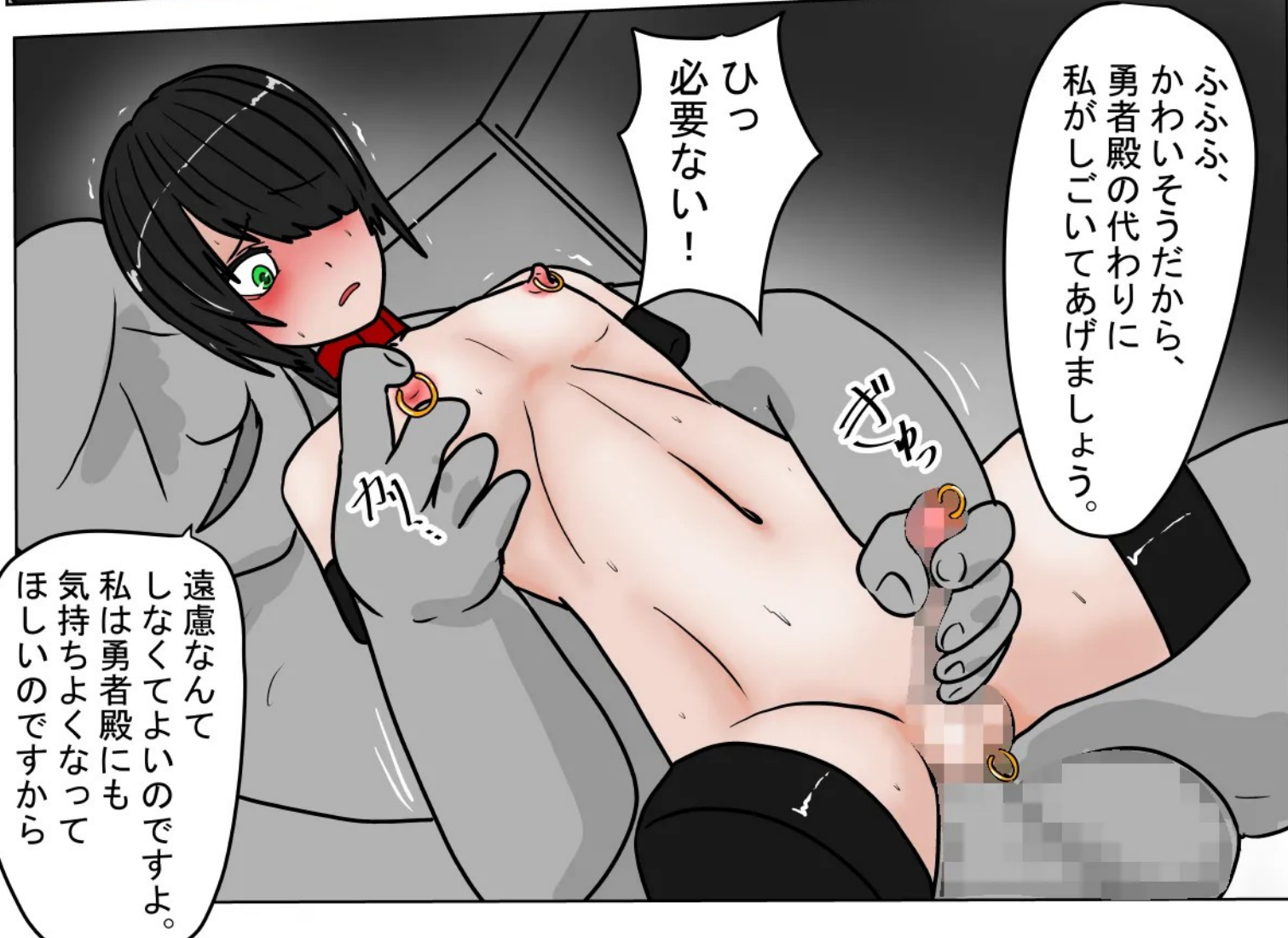


はははははははははは



ふほほほほほほほ

おっと、勇者殿はもう自分で慰めることも出来なかったのですたな。



ひっ  
必要ない！

ふふふ、かわいそうだから、勇者殿の代わりに私がしごいてあげましょう。

遠慮なんてしなくてよいのですよ。私は勇者殿にも気持ちよくなつてほしいのですから



ほら、勇者殿、騎士様が犯されている姿をよく見て。

少し何かが違うたら...勇者殿のおちんちんがあの穴に入りにしていたんですぞ

悔しいですか？悲しいですか？

それなのにこんなにおちんちんを固くして！



愛しの勇者殿に遠慮しておるのか？

いつものように声を出してよいのだぞ？



なんじゃアルティナ、  
見られて興奮しておるのか？

口では否定しても  
体は正直じゃぞ？

なか  
膣内がグネグネと動いて  
子種を欲しがつとるわ。

はぁ  
ふぁ

はぁ

はぁ

おぁ  
おぁ

ふぁ

ぐぁ  
ぐぁ  
ぐぁ



ははははは！  
おかわいそうな勇者殿、  
玉袋が無駄な精子で  
パンパンですぞ？

出したいですか？

騎士様の卵子に  
届くことのない  
無駄な精子、  
出したいんですか？

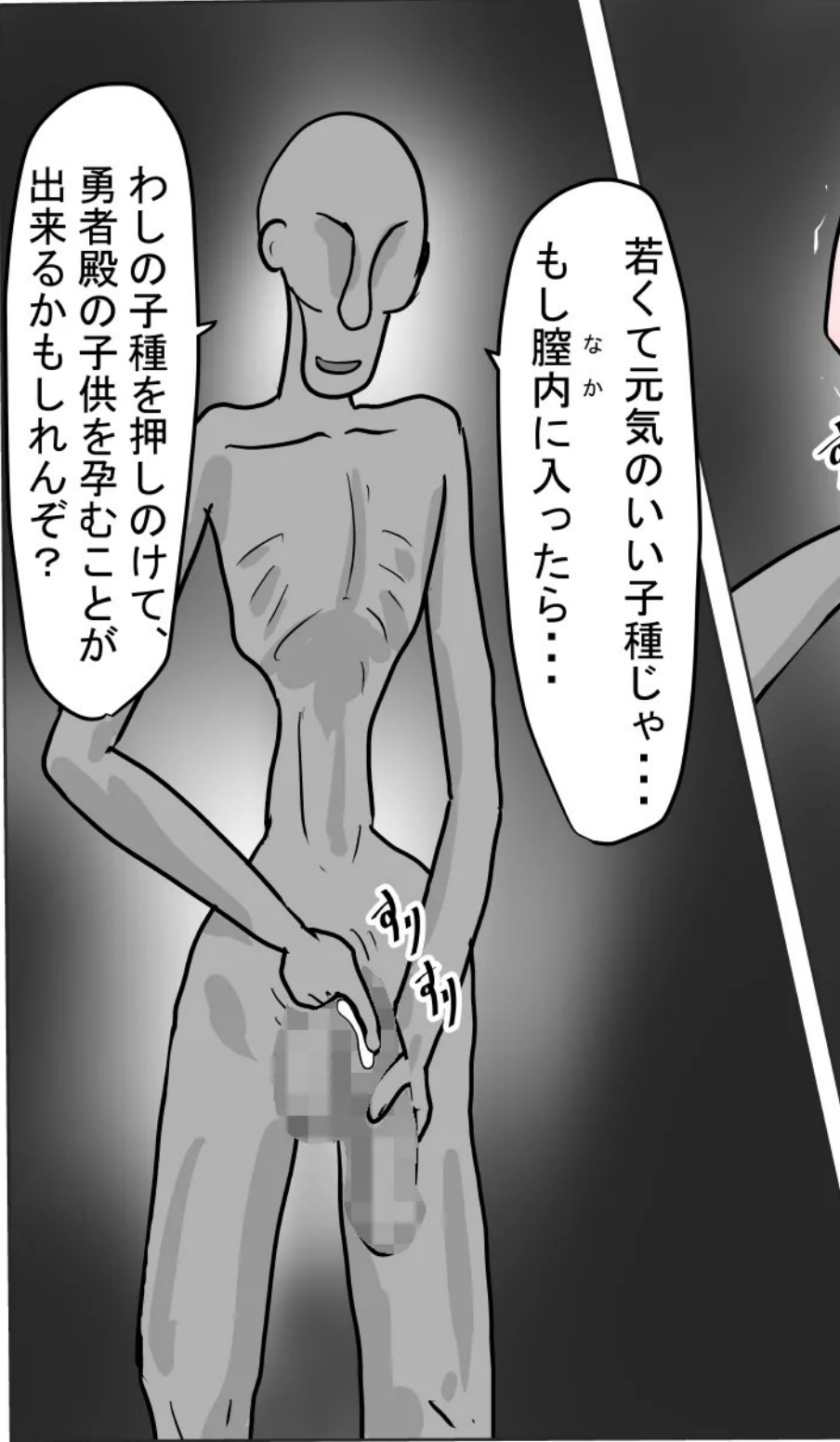
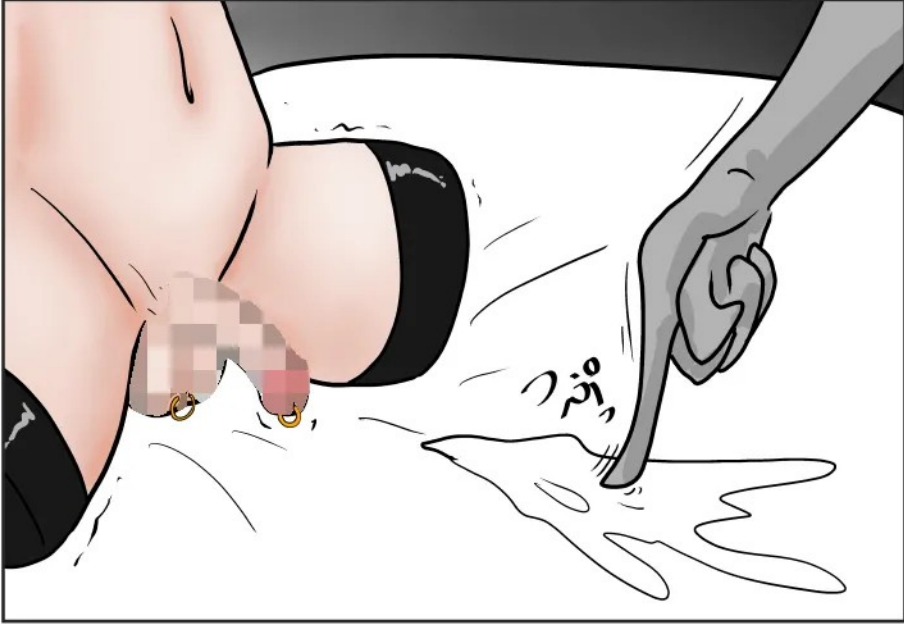
あぁ  
あぁ  
はぁ

はぁ

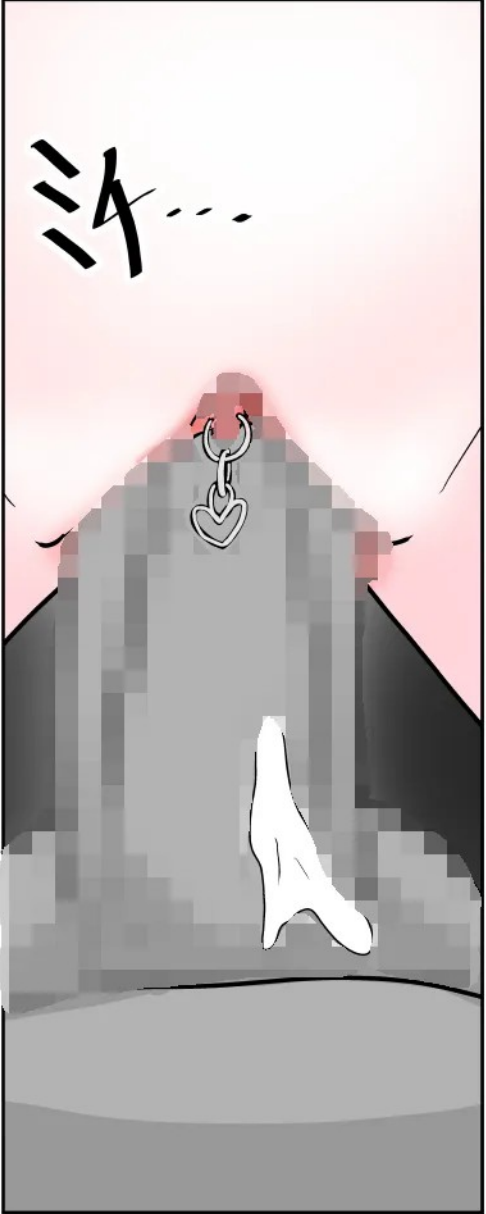
ぐぁ  
ぐぁ  
ぐぁ  
ぐぁ  
ぐぁ

はぁ









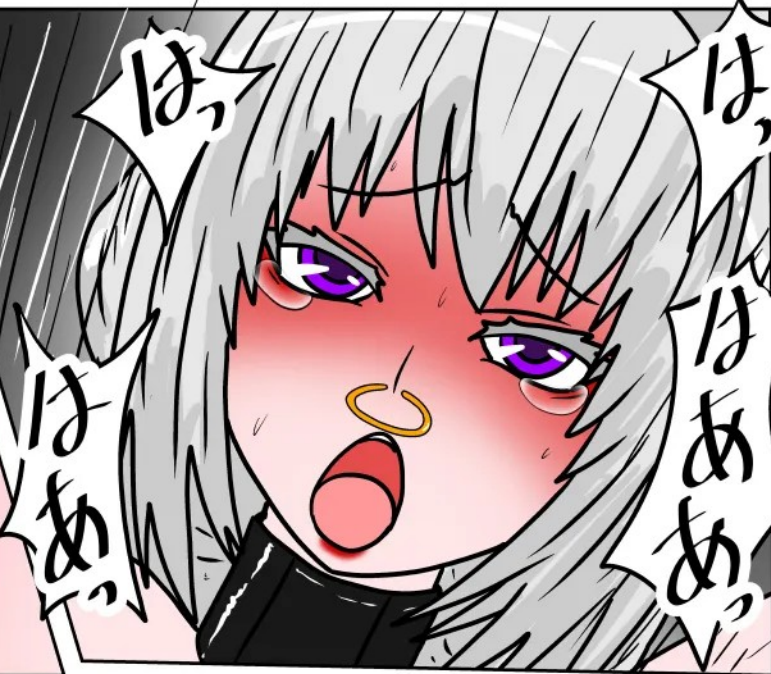
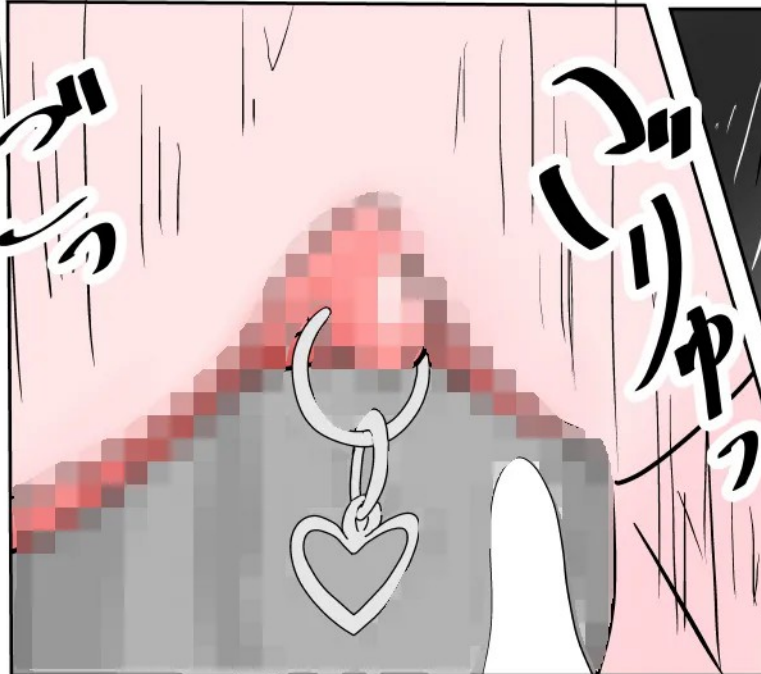
シ...



子宮まで全部使って、  
わしのモノを啜え込め！



中途半端では勇者殿の  
子種に届かんぞ？





届いてー!

はっ

はっ

届いてー!

あゝ

はっ

あゝ

あゝあゝあゝ

がちゃ

じゅぽ

じゅぽ

あゝあゝあゝ

出すぞー！

あ  
あ  
あ  
あ  
あ

ど  
ど  
ど

ど  
ど  
ど

ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん  
ん  
ん

ん  
ん  
ん





良かったのう、  
運が良ければ、  
これで勇者殿の子供を  
孕んだかも知れんぞ？



は、

は、

は、

は、



わたし……  
わたし、絶対に  
ルーク様の子供を  
孕みましたから……

絶対にルーク様の  
子供ですから……

絶対に産みますから……



は、

ル、ルーク様……

は、

は、

ふ、ふ

ふ、

ふ、

ふふふ、  
勇者殿は愛されておりますなあ





1週間後

そうそう、  
勇者殿のお友達の  
行方がわかりましたよ

冒険者の、ハンターの娘でしたか…  
どうやら非合法の高級娼館で  
完全NGなしの奴隷娼婦に  
なっているようですね。

ぐり  
ぐり

がが  
がが

まあ、冒険者の扱いとしては  
だいぶマシな方ですよ。

不正規の戦闘員となると、  
ゲリラやスパイとして即時処刑も  
当たり前ですからな

せっかくの娼館ですから  
一緒に遊びに行きましょう

んんん





料金が高いとはいえ、こんな傷つけるような道具を使っても良いのですか？

我が娼館の回復術師は非常に優秀です！

死んでいなければ、いえ、死んでもすぐであれば傷も残さず治癒できます。

もちろん、お客様自身も、お連れ様に関しても、我々が責任をもって治療しますよ！

この娘は神聖帝国の勇者パーティーに所属していただけあって、我々に対してとても反抗的です。

ですがあえて調教などを行わず、反抗的な態度を矯正していかないのです、思う存分暴力をふるって楽しむお客様が多いですね。

淫魔のねえさん方に比べれば花もなければテクもない貧相な体ですが、お客様方からはリアルな凌辱プレイができるという好評をいただいています



ふふふ、それは楽しそうだな







刺激を与えることで全身の汗腺から、  
女の匂いと南方人特有の匂いがまじりあった  
フェロモンが溢れ出してくる……

むせかえるような  
濃厚さだ……

はぁ  
あぁ

はぁ  
あぁ

んあ  
あぁ  
あぁ

わ  
わ  
わ

わ

う

べ  
べ  
べ

ぐわ  
ぐわ

ぐわ  
ぐわ

汗も……

ほね

よだれも……

んげん

はぁ  
はぁ

へちや

ちや  
ちや

んあ

あ

鼻水も……

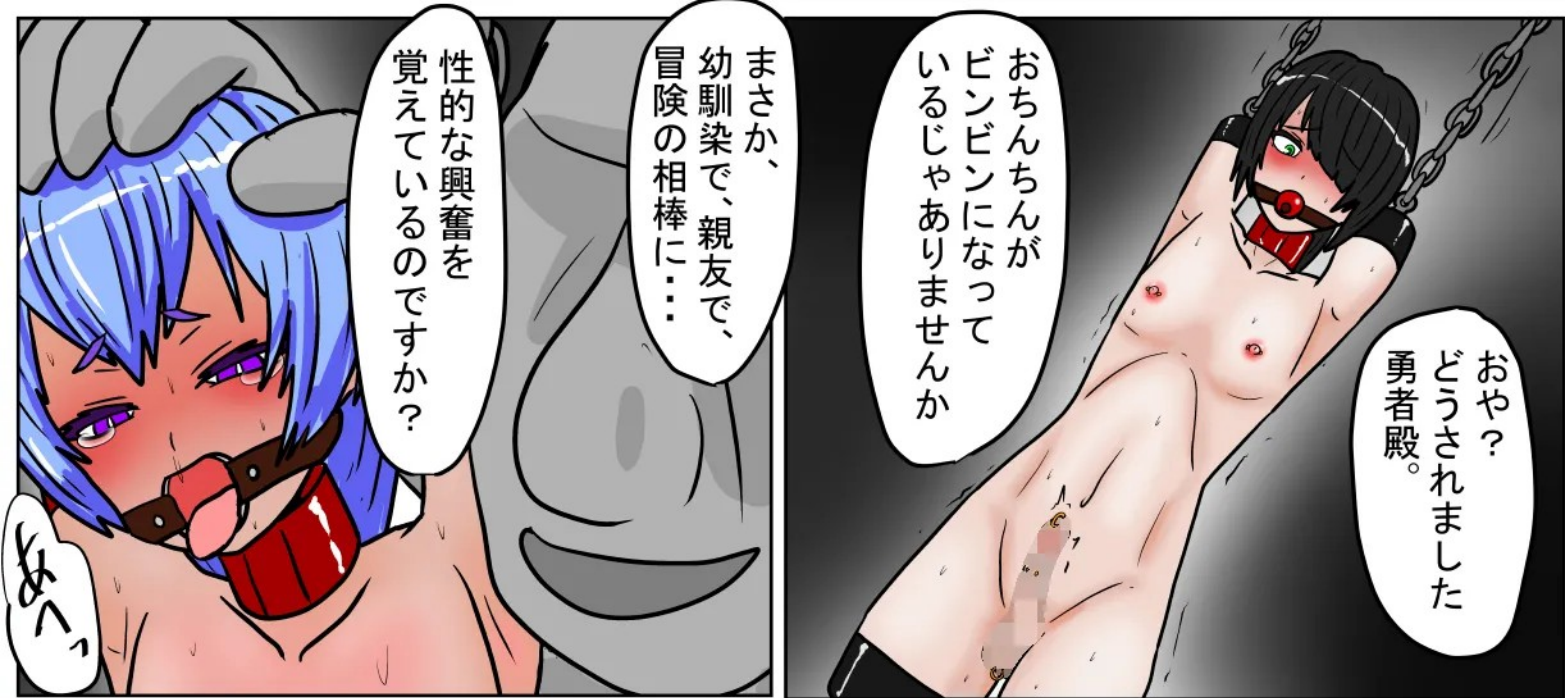
へちや

へちや

へん

あ

淫魔の甘さとは異なる、  
ツンとくる濃厚な刺激が  
クセになる……



おや？  
どうされました  
勇者殿。

おちんちんが  
ビンビンになって  
いるじゃありませんか

まさか、  
幼馴染で、親友で、  
冒険の相棒に……

性的な興奮を  
覚えているのですか？

あーっ



この幼馴染マンコに、  
勇者殿のクソ雑魚  
負けオスちんちんを  
挿入したいんですか？

くばあ

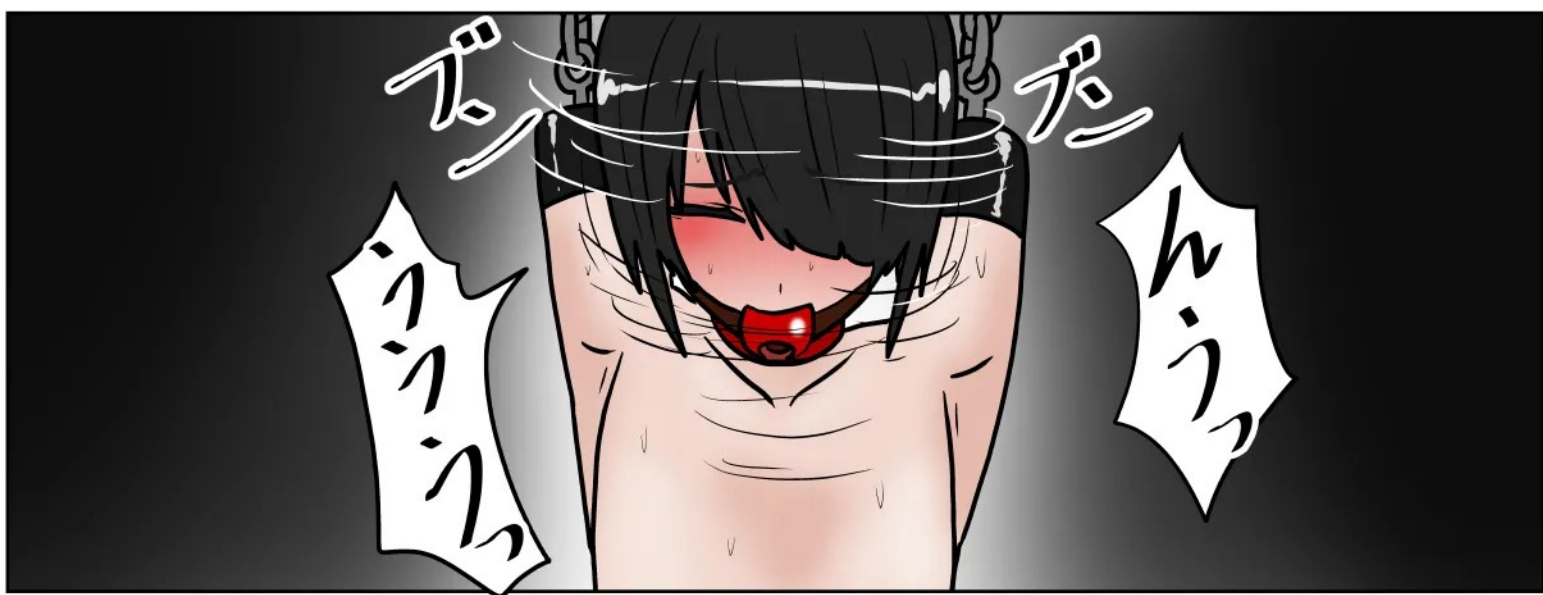
ぐい

親友の膣内なかを  
ぐちやぐちやに掻き回して、  
相棒をひいひい  
泣かせたいんですか？

あーっ

あーっ

おめめっ



おやそうではない...

残念でしたねえ、ニナちゃん。  
勇者殿は南方人の女は  
好みでないようです。

とはいえ、おもちゃの分際で  
他の女を見て勃起する勇者殿には  
少しお仕置きしなければいけませんな



ぐぐぐぐぐ

ふわっ  
あわっ

ははははは、  
ダルマ女を大きなデイルドに見立てて、  
勇者殿の尻をほじる。

我ながら良いアイデアだ

んか  
!!

んか  
んか  
んか

んか  
んか  
んか

んか  
んか

んか  
んか

んか

んか  
んか

んか

どうです、勇者殿。  
私のピストンが  
ご親友を通して  
尻穴を突き上げる  
感覚は！

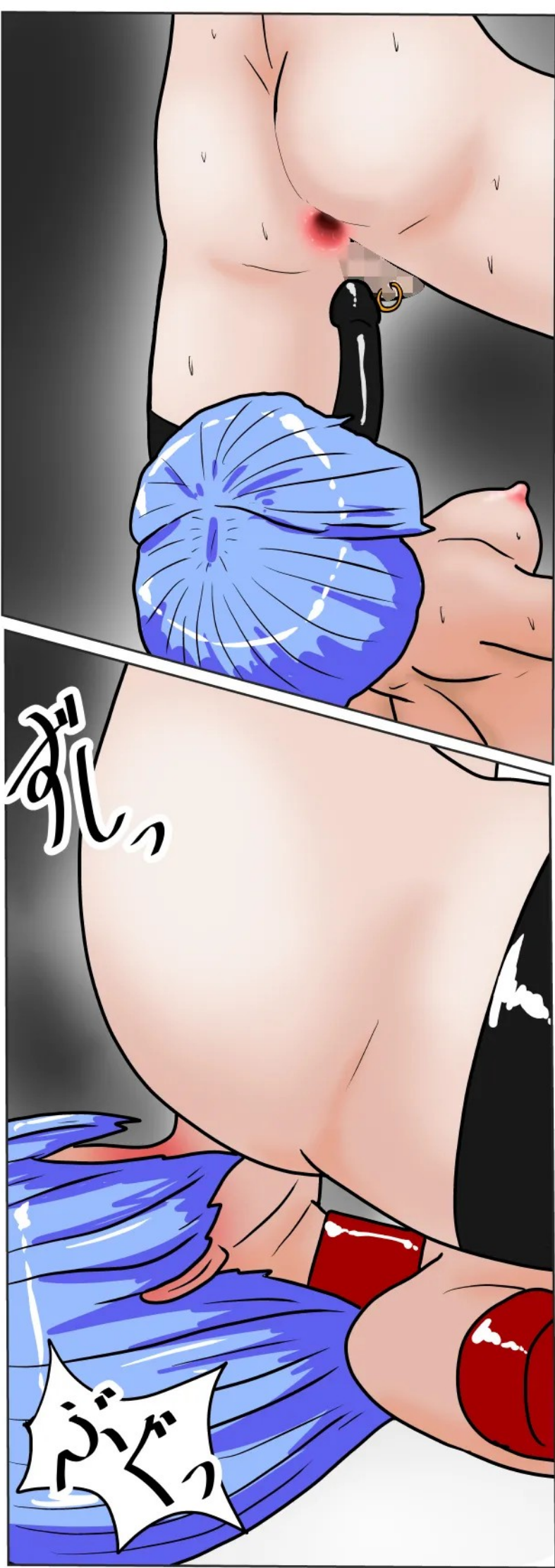
んか  
んか

んか  
んか

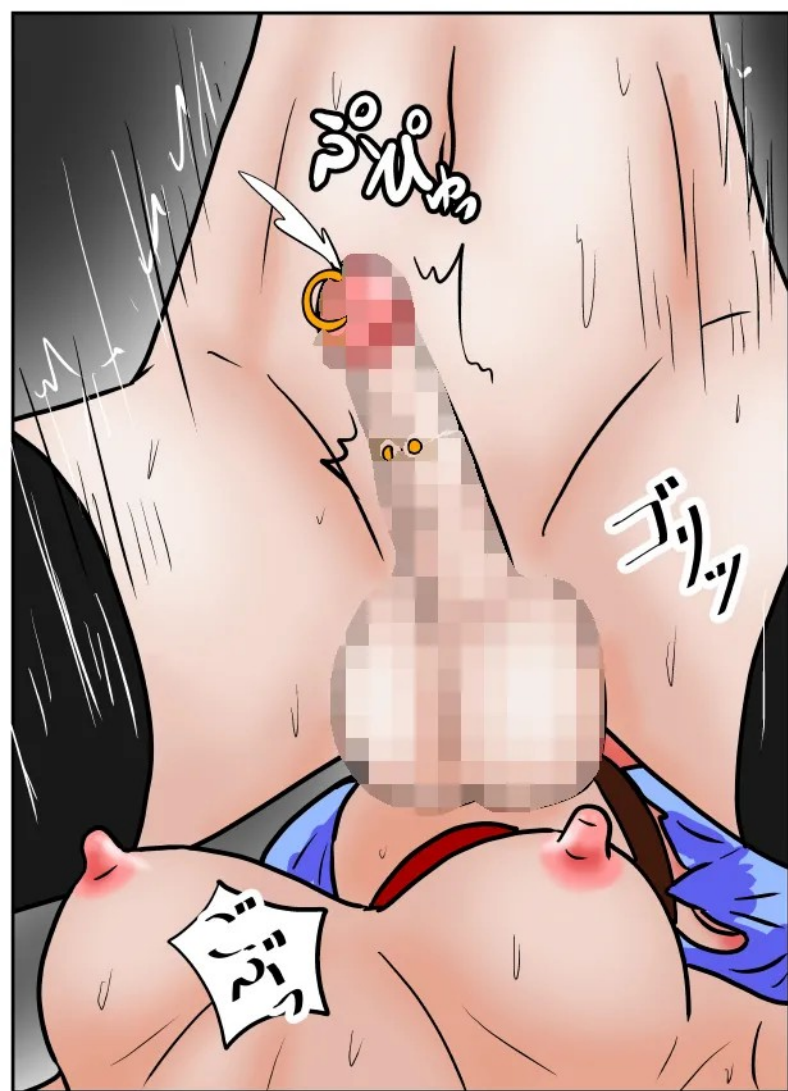
んか  
んか

んか  
んか

次は体の向きを  
変えてみましょうか

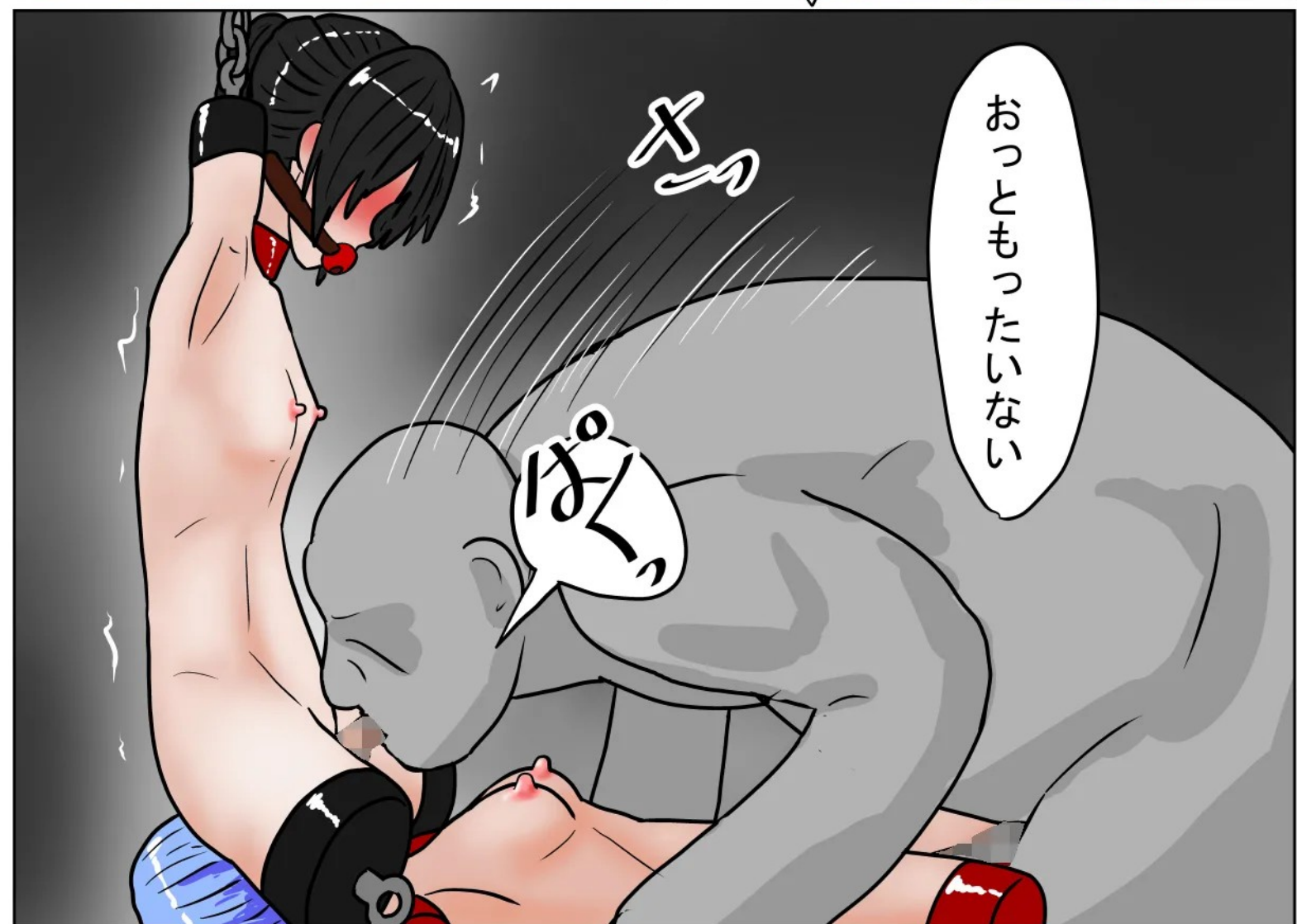




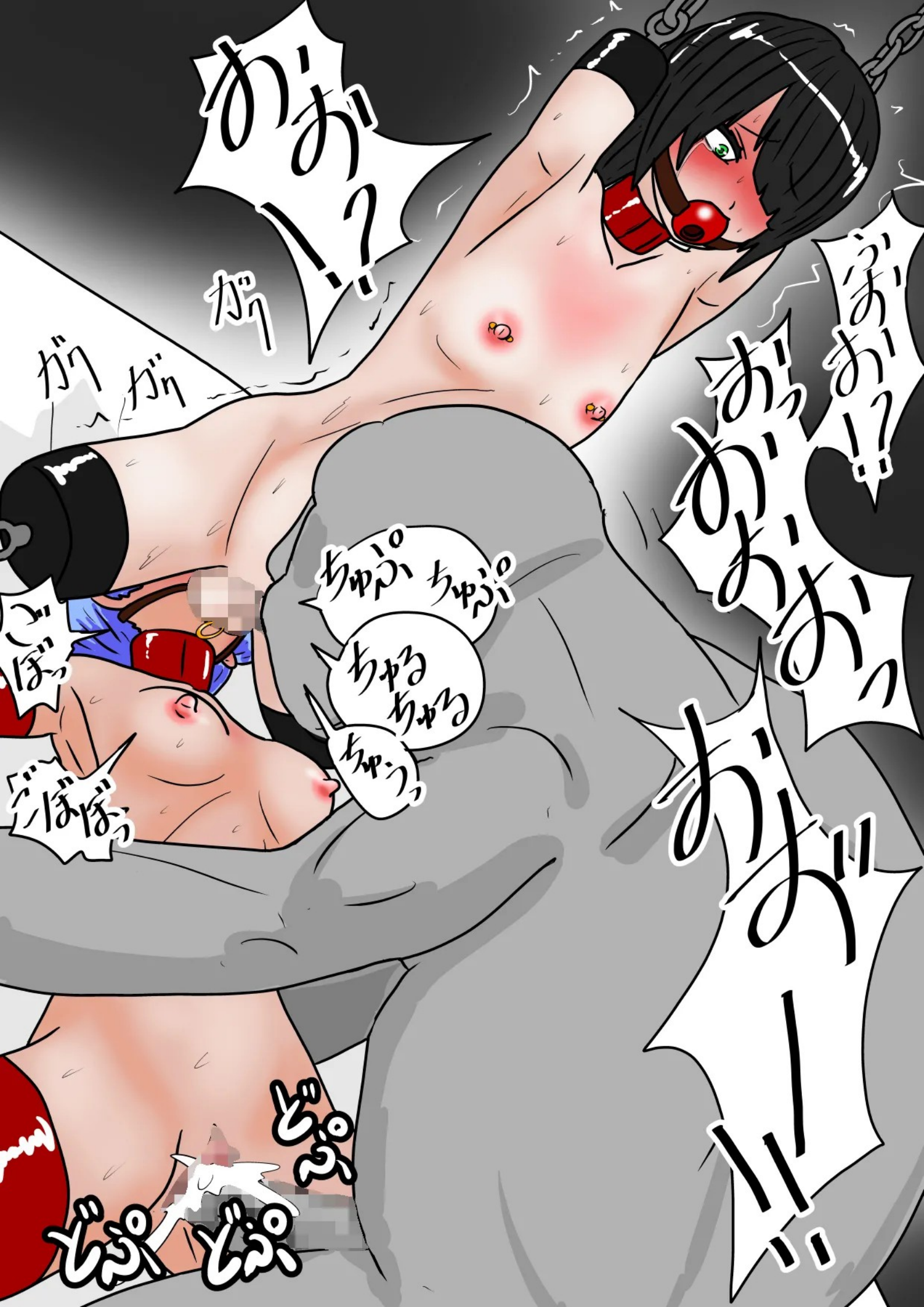


幼馴染に尻穴を犯されるのが  
そんなに気持ちよいのですか？

どうしました勇者殿？  
先ほどから先走り汁が  
溢れ出しているではありませんか。



おっともったいない



あああ  
が  
が  
が

あああ  
あああ  
あああ

ちゅんちゅん  
ちゅんちゅん  
ちゅんちゅん

ちゅんちゅん  
ちゅんちゅん

ちゅんちゅん  
ちゅんちゅん

あああ  
あああ  
あああ



なかなか楽しかった  
ですね。  
でも……

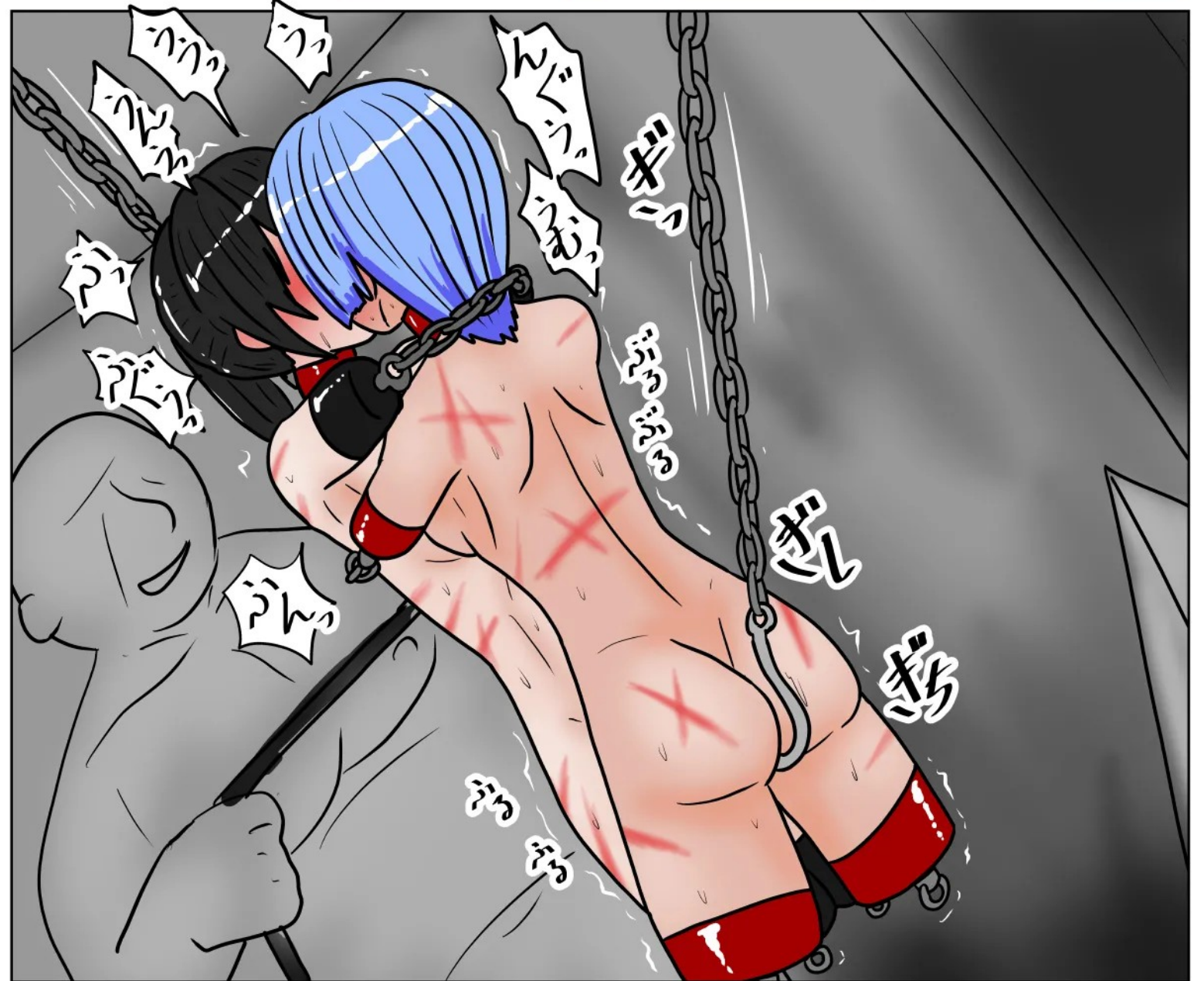
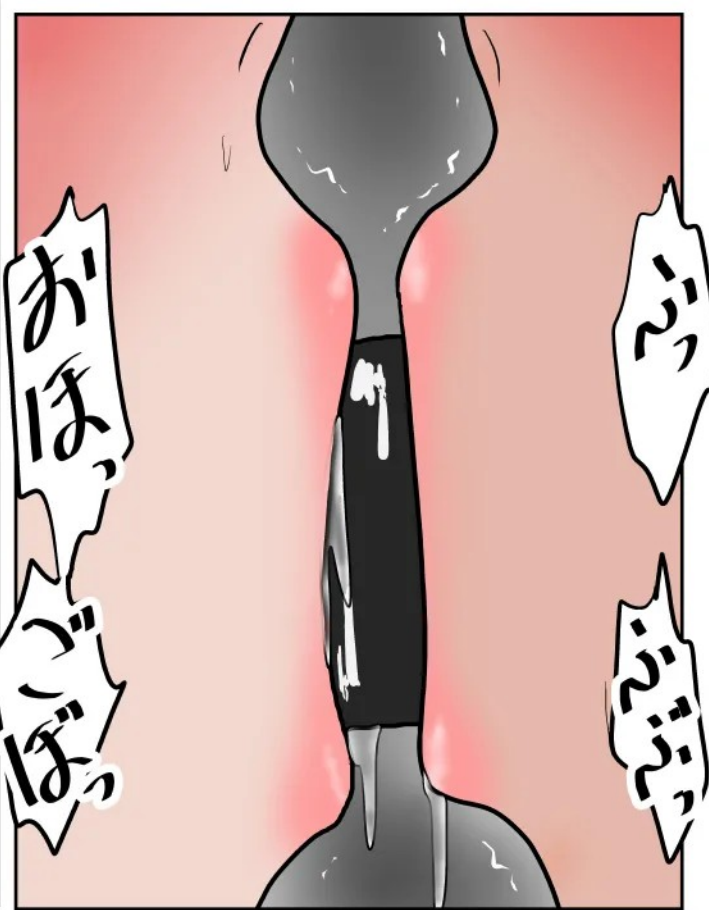
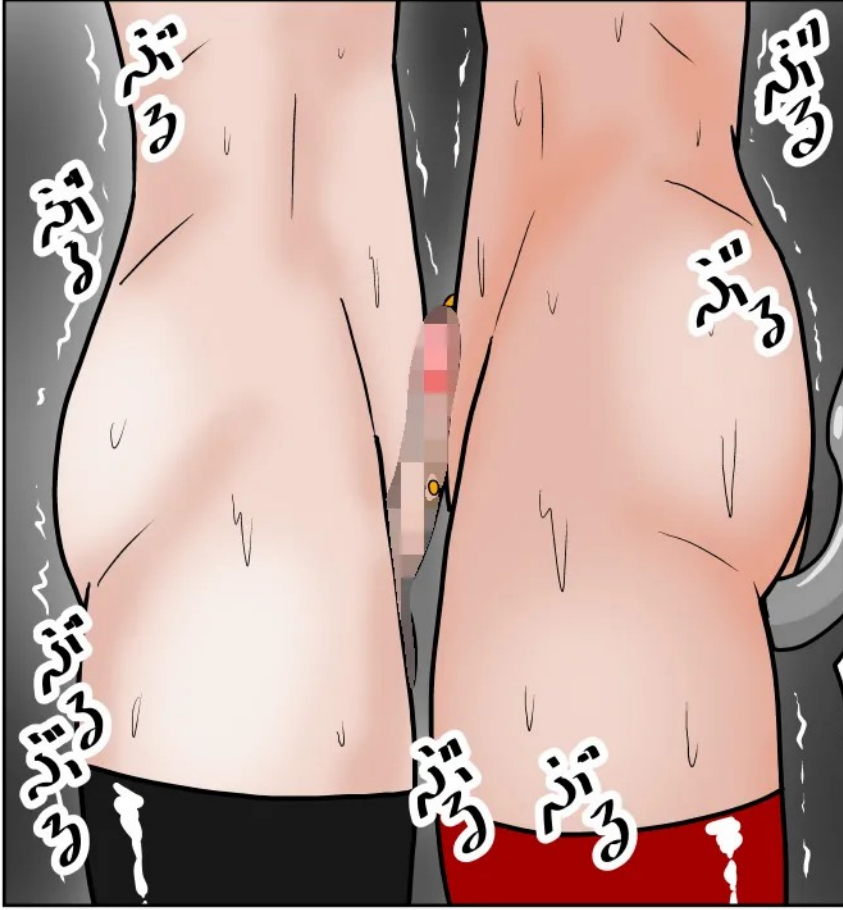


お仕置きしなければ  
いけませんね。

お尻を犯されて  
射精した  
浮気者にも、



私のおもちやを犯した  
クソ娼婦にも、





しつかり反省  
できましたか？

次に来るときは  
勇者殿の排泄物で、  
この奴隷娼婦の腹を  
ぱんぱんにしてやりましようね。





1ヶ月後

ああそうそう、

勇者殿、  
明日は「黒炎の魔女」を  
見に行けることにな  
りましたぞ。

わく わく  
わく

クロウの……？

あれは星捧社の  
魔女ですからな、

内務省の知り合いに  
掛け合って許可をもらうのに  
苦労しましたよ。

彼女は……  
無事なのでしょうか？

死んでいないというのを  
無事、というならば……  
まあ無事ではありますな。

ただし、女騎士や  
冒険者の娘よりはだいぶ  
悲惨な扱いでありますね。

わんわん



え……  
これが……  
クロウ……さん？

……

……

……

……



酷い……  
こんな……

星捧社は反魔族・  
反魔導帝国を掲げる  
組織ですからな。

魔王討伐部隊の指揮官  
ともなれば、組織内では  
上級幹部クラスです。  
あらゆる情報を  
引き出すために拷問を  
行うのは当然でしょう。

やあやあ  
その子が例の  
勇者くん？

やあタナカサン、  
無理を言ってますみません。

今日はよろしく  
お願いします

いいよー  
パルパさんは  
お得意様だもん。

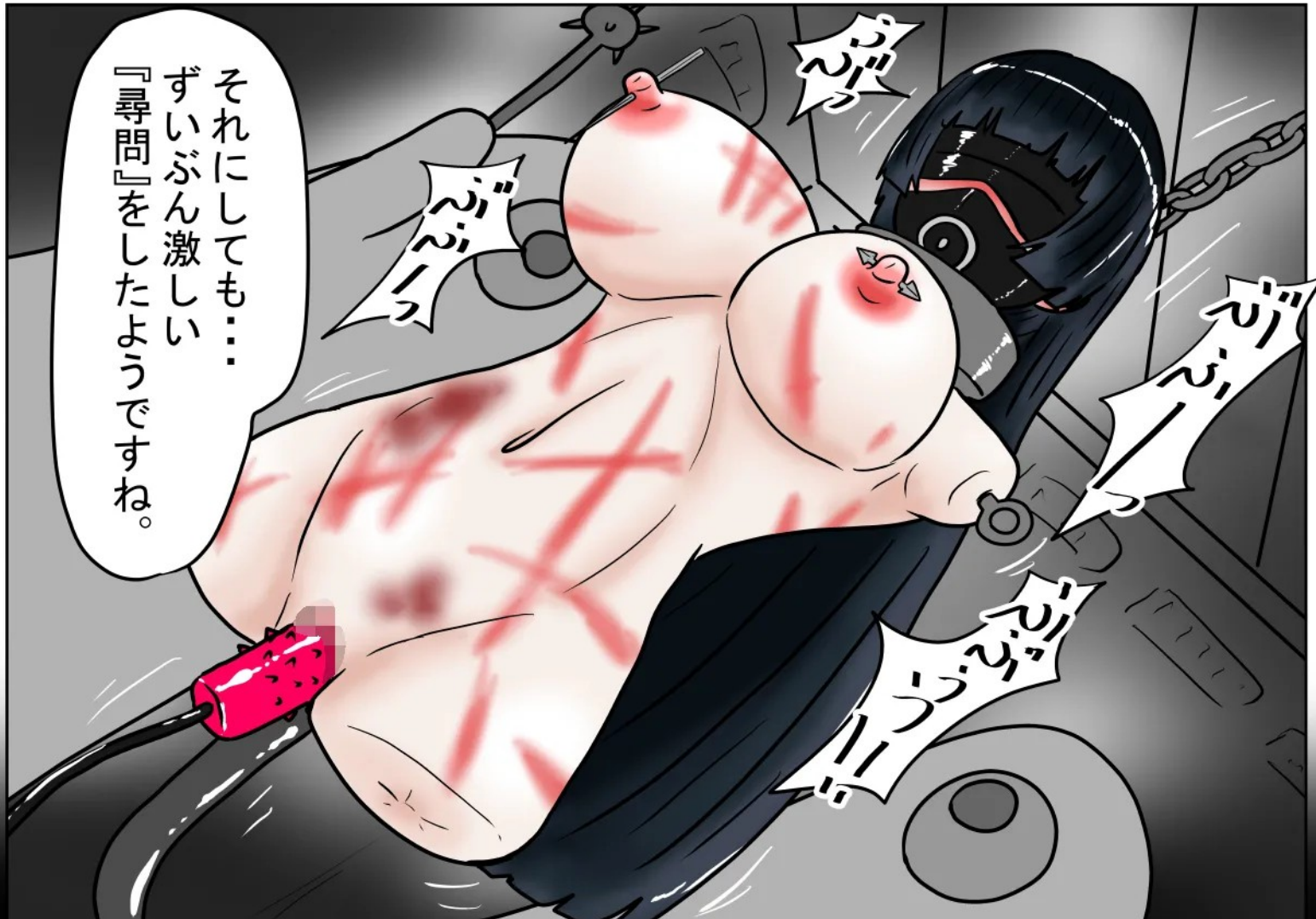
上からも  
便宜を図って  
やれって  
言われてるし

むしろもっと  
頼ってくれて  
いいんだよー

それにしても…  
ふうん、確かにかわいい  
顔してるね。

魔女ちゃんが  
入れ込むわけだよ。

それにしても…  
ずいぶん激しい  
『尋問』をしたようですね。





そうだねー、  
最初は当然五体満足だったんだよ？  
でも全然協力してくれなくてねー



ぼくらもつい力が入った  
『尋問』になっちゃってね。

先っぽの方から少しずつ  
やってるつもりだったんだけど……  
気付いたら結構削っちゃったんだよね

内務省は頭から直接情報を  
引き出す技術を持っていると  
聞きましたが……



ああ、それね、  
脳みそぐちゃぐちゃにかき回すことになるから、  
大急ぎで重要情報を引っ張り出すような場合ならいいけど、  
知ってることを洗いざらい吐き出させるような場合では  
使えないんですよ



うちの職員もみんな  
大張り切りでしたよ。

今回みたいに  
星捧社の大物幹部を  
確保できるなんて  
めったにないですからね



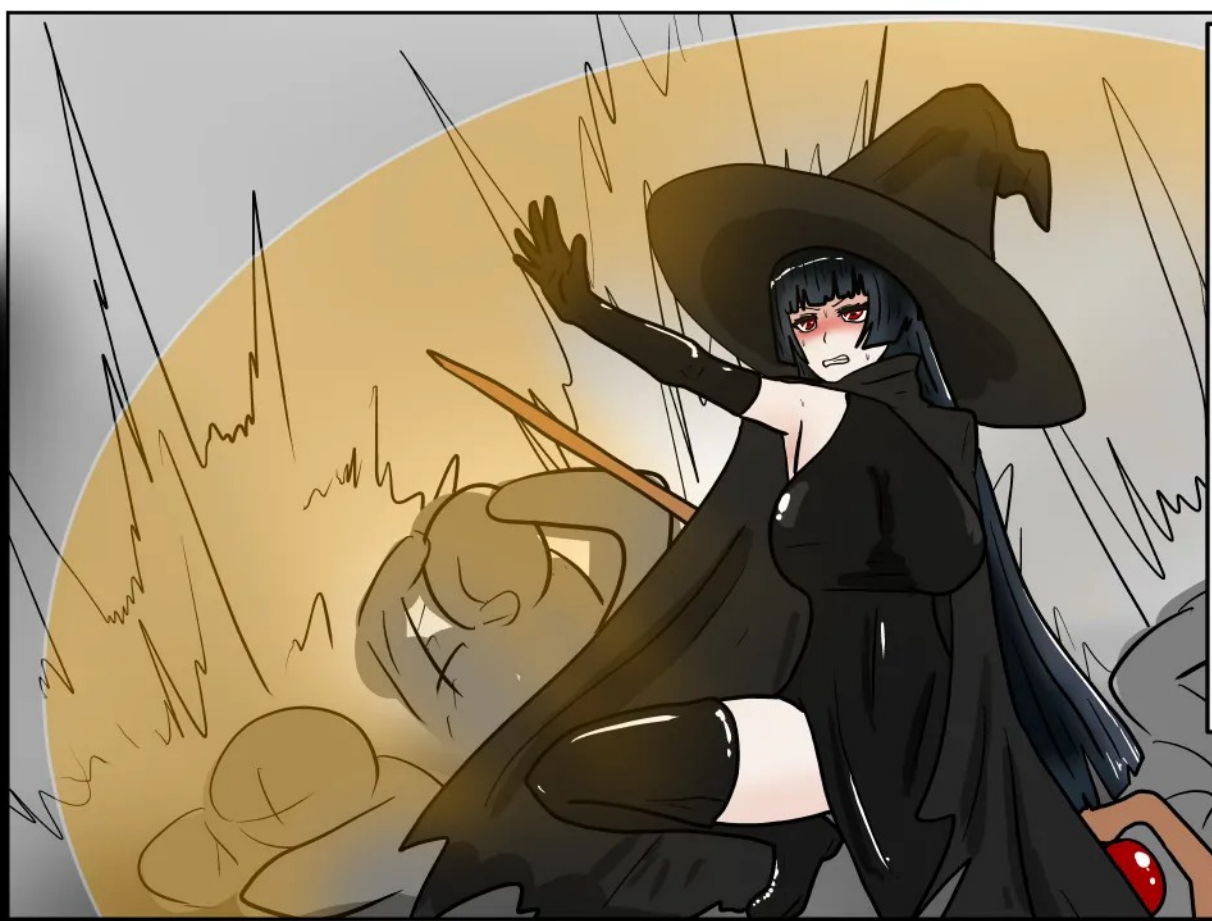
内務省<sup>うち</sup>のエース級職員が  
大集結して、  
3週間以上にわたって  
昼夜不問、不眠不休で  
徹底的に責め続けましたよ。



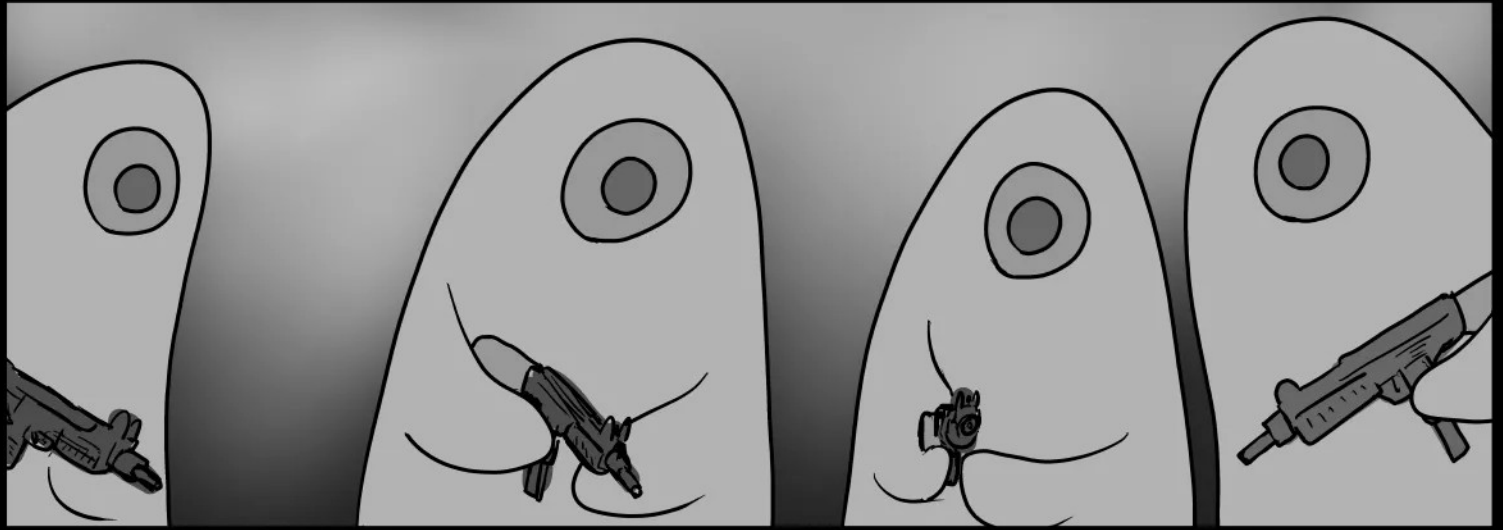
ああそうそう、  
この魔女ちゃんがほぼ無傷で  
ぼくらに捕まったのは、  
勇者くんのせいなんだよ。



その結果が...  
まあこれですよ。



勇者くんが軍の集中砲火から  
生き延びることができたのは、  
この魔女ちゃんが限界を超えて  
防御魔法を使い続けて、  
勇者君を守り続けたからなんだ。



砲撃が終わった時には完全に  
力を使い果たしちゃってたみたいで、  
ほとんど無抵抗で  
軍の制圧部隊に捕まったんだって。



ホントなら星捧社の魔女は  
秘密保持のために  
自殺のための最後の力を  
残しておくものなんだけど……

魔女ちゃんは  
勇者くんを守るために、  
文字通り最後の一片まで  
力を使い果たしたんだ。

捕まってしまえば  
こうなることは  
分かっていたのにね

勇者くんは  
愛されてるね





勇者殿はモテモテですなあ  
あの魔女は勇者殿のために  
今も、これからも、延々と  
苦しみ続けることになる。

並みの愛情ではありませんぞ？  
うらやましい限りです。



あ、あの…

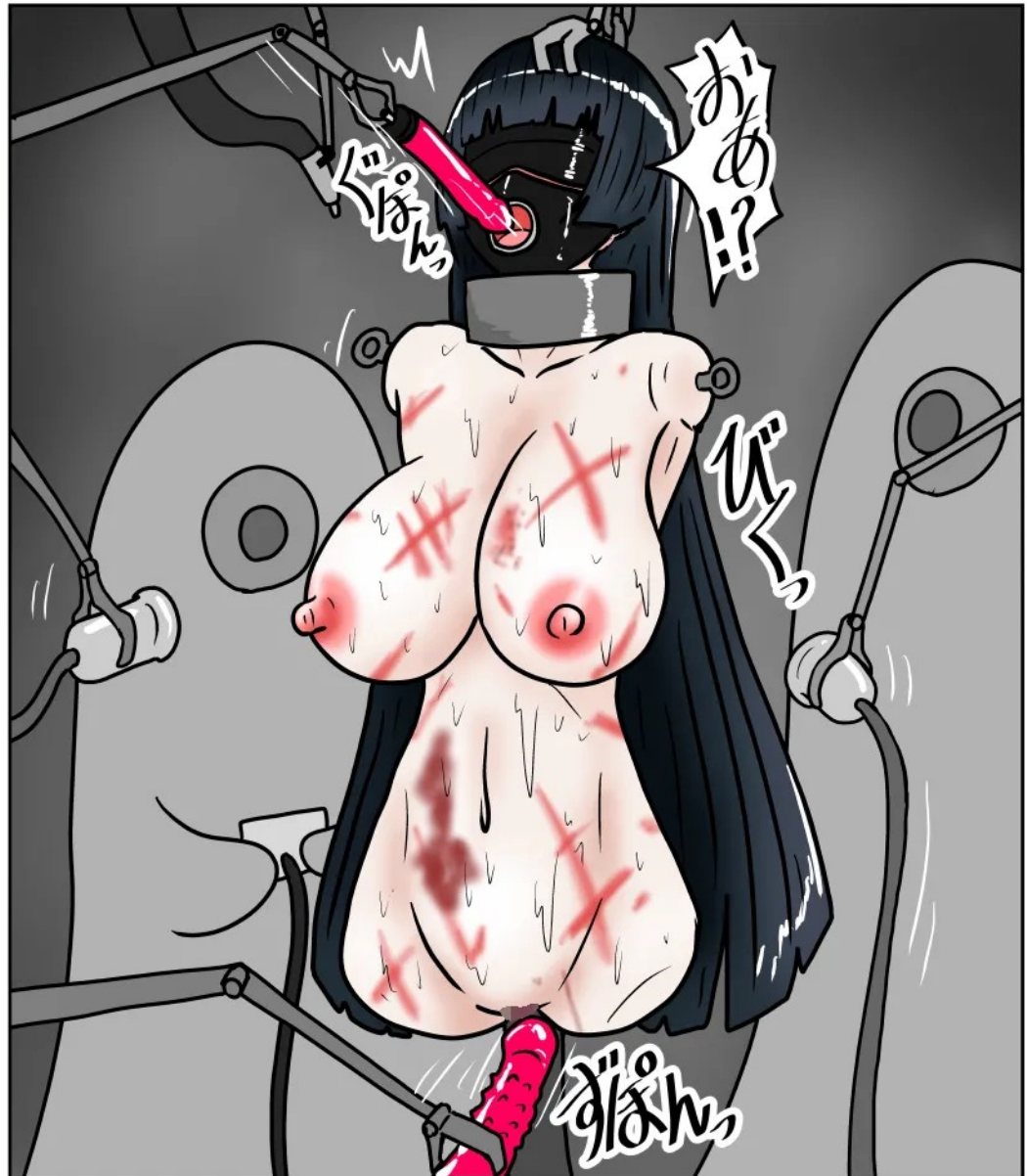
お願いです  
彼女を…  
クロウを、  
助けてあげられませんか？

情報は、  
もう引き出したんですよ？  
なら彼女を苦しめる理由は  
もうないじゃないですか。



あぁ、うん。  
ゴーモンはもう終わりだよ。  
次の仕事も決まってるし。

次の仕事？



よしよし、  
接続良好

魔女ちゃんはこれから、お城の排水から抽出された有機物を魔力に変換するっていう大事な仕事に就くんだよ！

魔女ちゃんの体を刺激する各種機械と生命維持装置、魔力の抽出装置を取り付けて、この建物の基礎部分に埋める。

コンクリートで固められた地下の埋設槽で、生命活動が停止するその瞬間まで、魔力を絞り続けるんだ。

そんな……！  
やめてください！

酷すぎます！

これ、決定事項なんで。

ガリッ

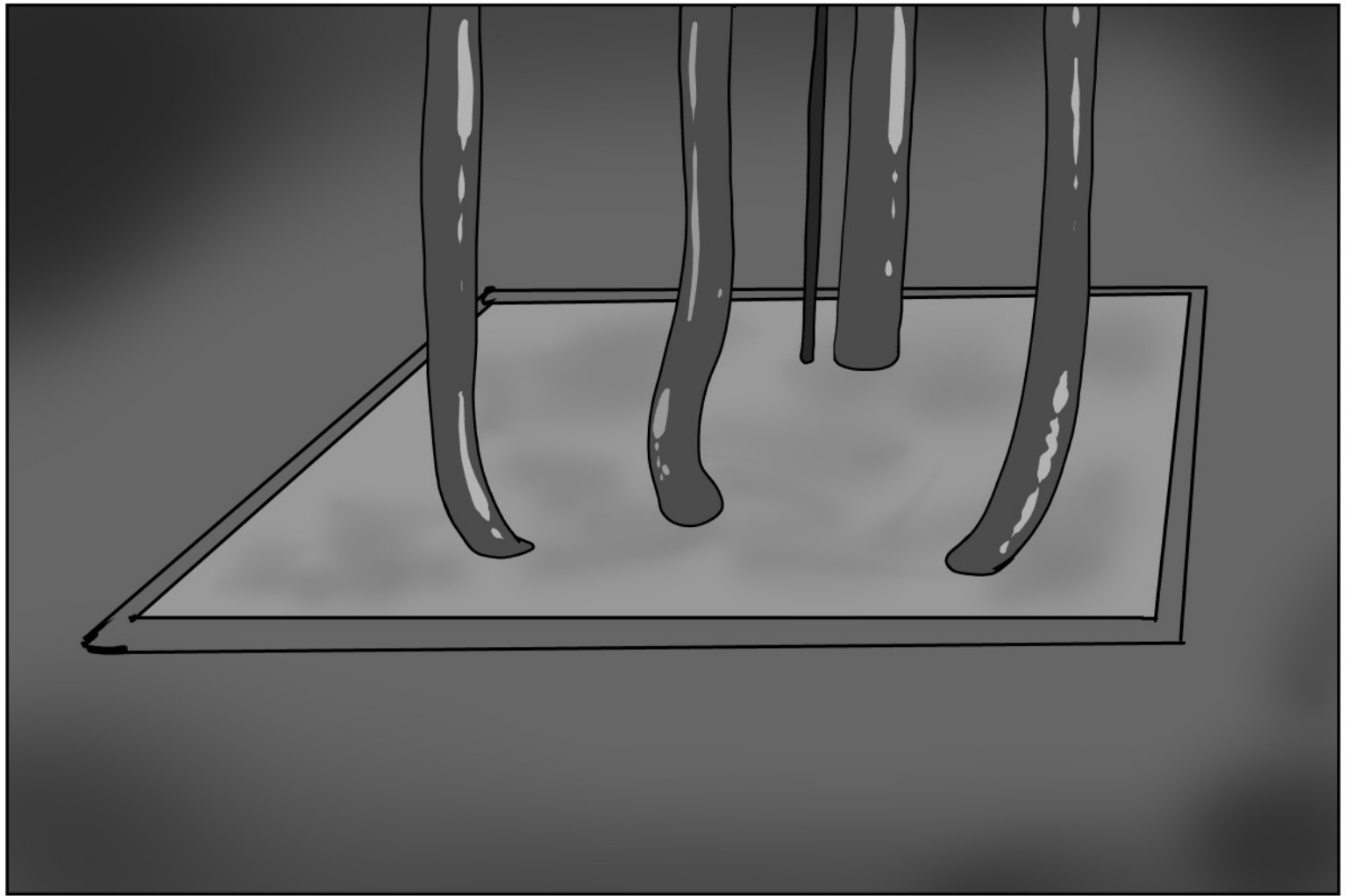
おっ

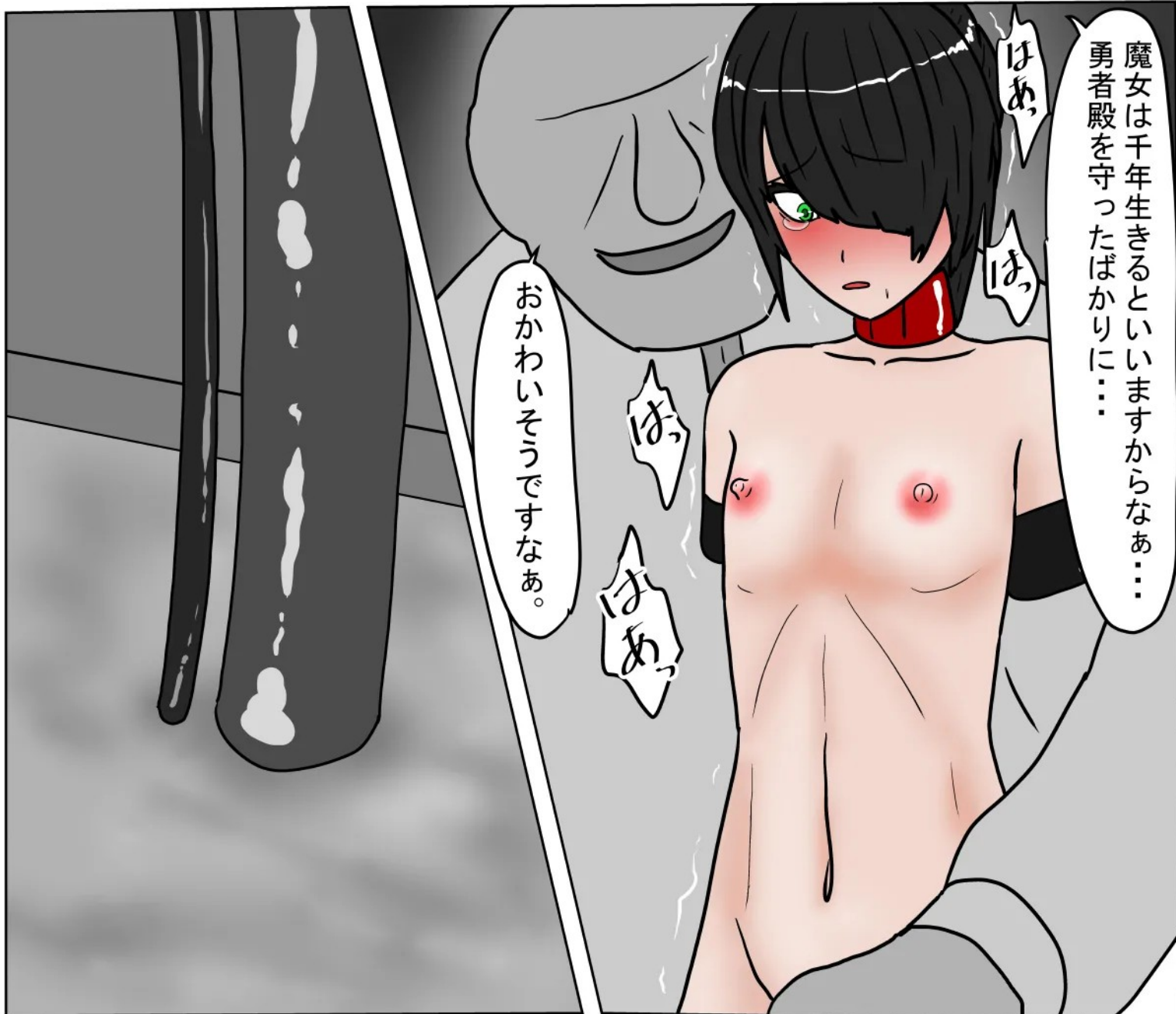
っぼ

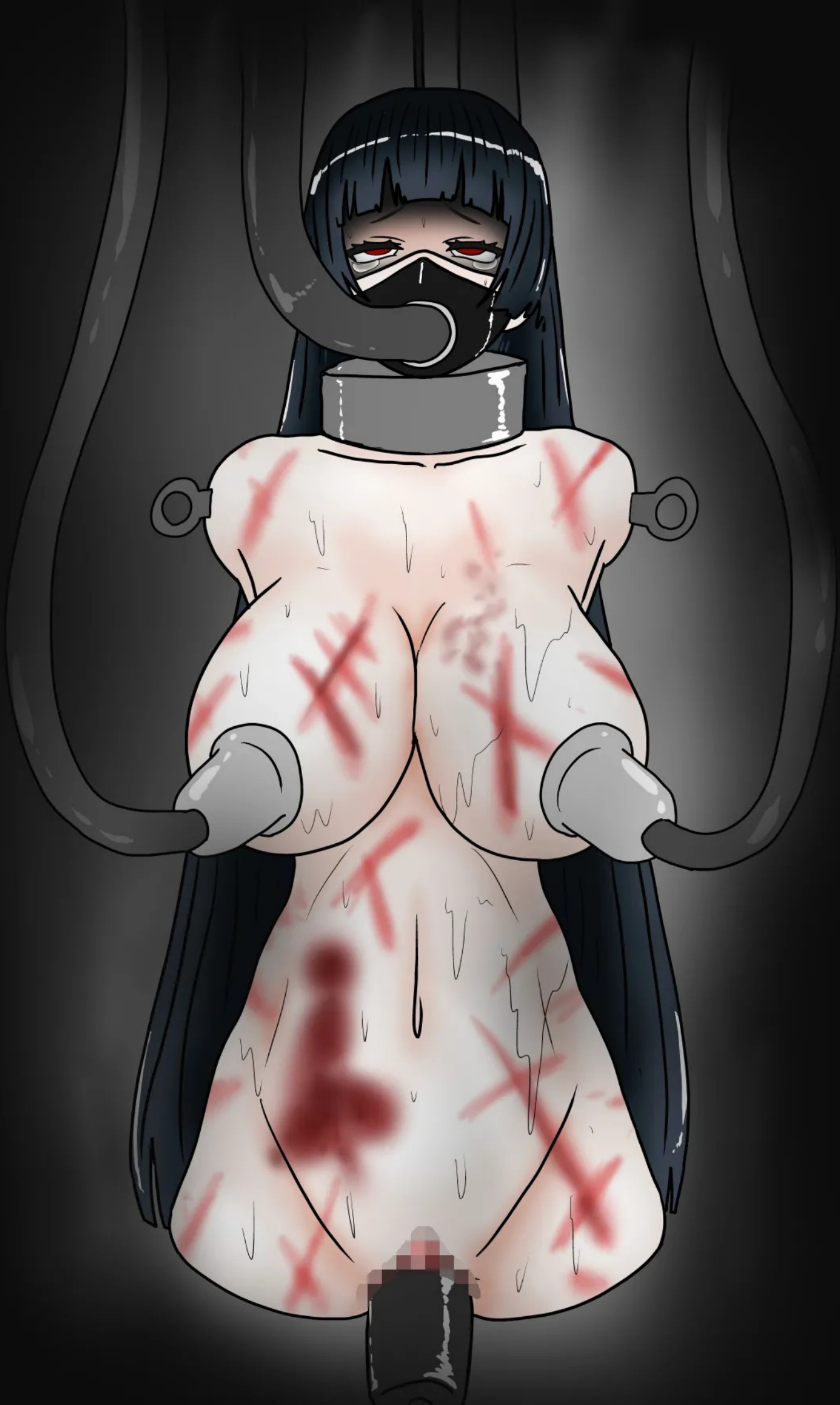
お

っぼ



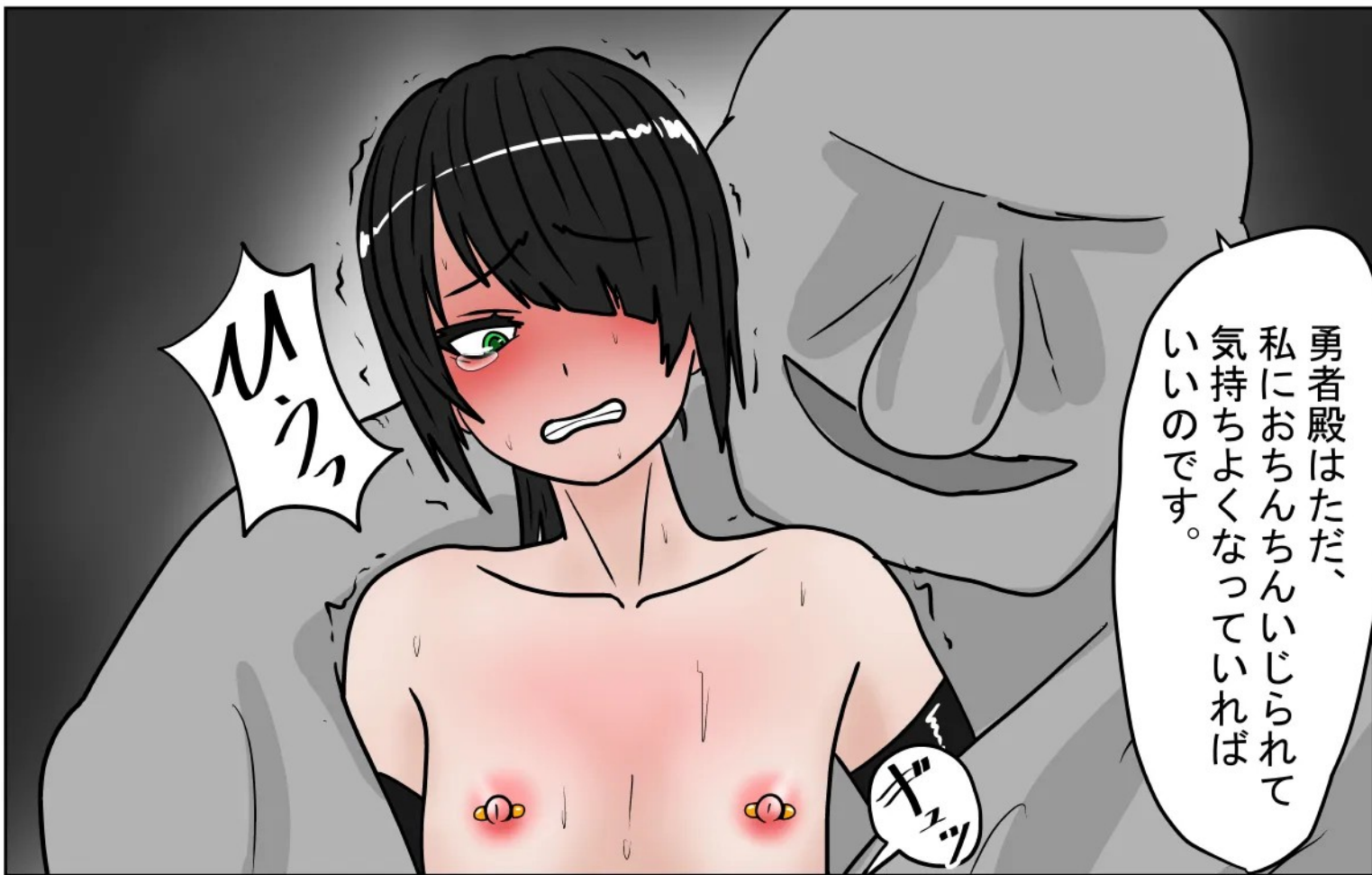








魔女のことか気になりますか？  
あれはもう取り出せませんから、  
気に病んでもしょうがないですよ。



勇者殿はただ、  
私におちんちんいじられて  
気持ちよくなっただけで  
いいのです。

お母様と妹君にも  
会えるよう手配しておりますから、  
楽しみにしていってくださいね……

んあ、

あ、あ、あ、

ひゅ

ひゅ

続

く……



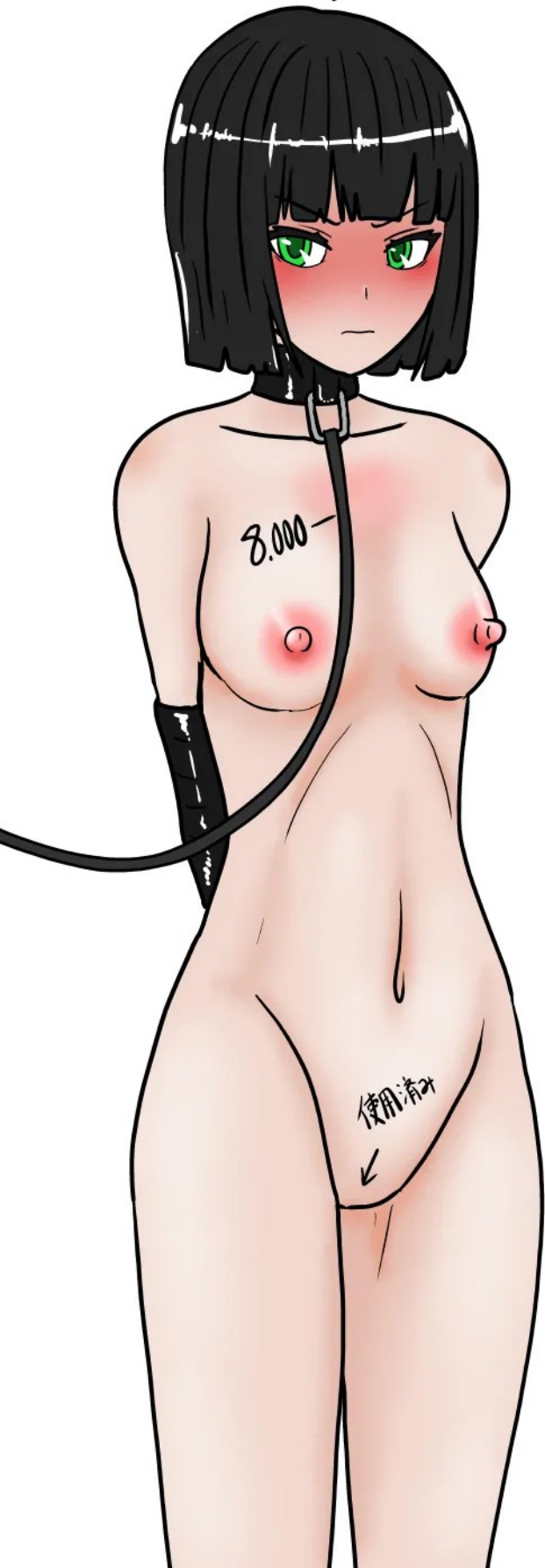
次回、勇者の家族がググル布に!!

2025年  
7月3日  
予定

育の母 ↓



血のつながらない妹 ↓



# NTRは、これ側に 感情移入すると危険



感想 2/24, 15/24, 16/24, 17/24, 18/24!!

科Y総研 2025/2/4

# すごいぞ！ 魔導帝国砲兵隊！！

M101 105mm榴弾砲



砲兵こそが  
戦場の神！

魔導帝国陸軍の主力野砲。

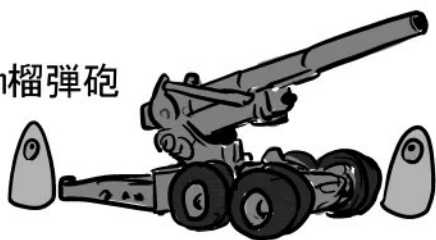
地球製の野砲を丸パクリして、帝国内の兵器廠で製造されている。

地球性の大砲はいくつも

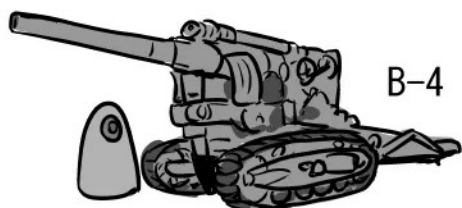
輸入、研究され、  
実用試験も

行われたが、基本的に土を踏み固めただけの道路が多いこの世界では、重量級の砲では迅速な輸送が不可能であるため、比較的軽量の105mmクラスの砲を主力とすることが決まった。本体の大部分がアルミ合金製でさらに軽量のM2榴弾砲も候補に挙がったが、生産量の少ないアルミ合金は優先的に航空兵器に割り当てられることが決まったため、重量面での不利はあるものの、旧式の本砲が正式採用となった。

M115 203mm榴弾砲



B-4 203mm榴弾砲



研究のために輸入された大口徑・大重量の砲については、帝都防衛隊の重砲大隊にまとめて編入されている。重砲大隊は勇者パーティー砲撃作戦において初の実戦参加となったが、砲弾を含めた輸送車両の手配に難航し、B-4榴弾砲1門が砲弾30発を発射するにとどまった。









# 以下、広告

本作と同世界観の作品(左上から発表順)



亡国王女の末路



亡国王子の末路



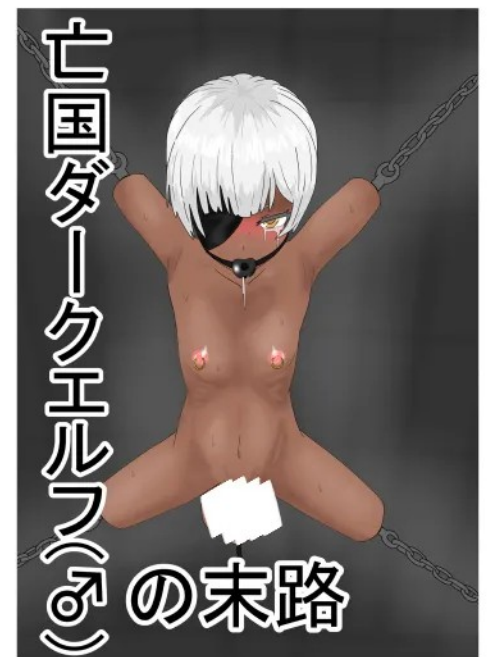
魔女墮とし



魔王様と  
小さな寵姫ちゃん



ロリサキバスは  
人間に捕まると  
どうなるの？



亡国ダークエルフの  
末路



# 地獄の鬼になったので拷問してみた

地獄の鬼に転職した男が、  
地獄に落ちた悪い女をボコボコにするシリーズ



1～5まで収録した、総集編1を発売中



↑ 最新刊

次刊(8)は夏頃発売予定

# 生贄の巫女が悪い神様に エロいことされるお話



新しく始めたシリーズ

痛い系控えめ、超酷い系は(いまのところ)なし。